



厚生労働省所管

九州職業能力開発大学校

○機械系 ○電気系 ○電子情報系 ○建築系

ものづくり
TECHで未来を開く。



OPEN

OPEN THE WAY
TO THE FUTURE
WITH TECHNOLOGY.

ものづくり

TECHで未来を開く。

たゆみなく進歩する“ものづくり”の未来を
自身の技術力で切り開く。

九州職業能力開発大学校（愛称:「九州ポリテクカレッジ」）は、
4つの分野の「ものづくり」を、ゼロから学ぶことができる場所。

自身で深慮し、仲間と協力しながら実際にものを作り、
検証を繰り返して「形」にします。

座学、実験・実習を通して、各系（分野）の「知識・技能・技術」と
その活用のためのノウハウを学び、専門力を身に付けます。

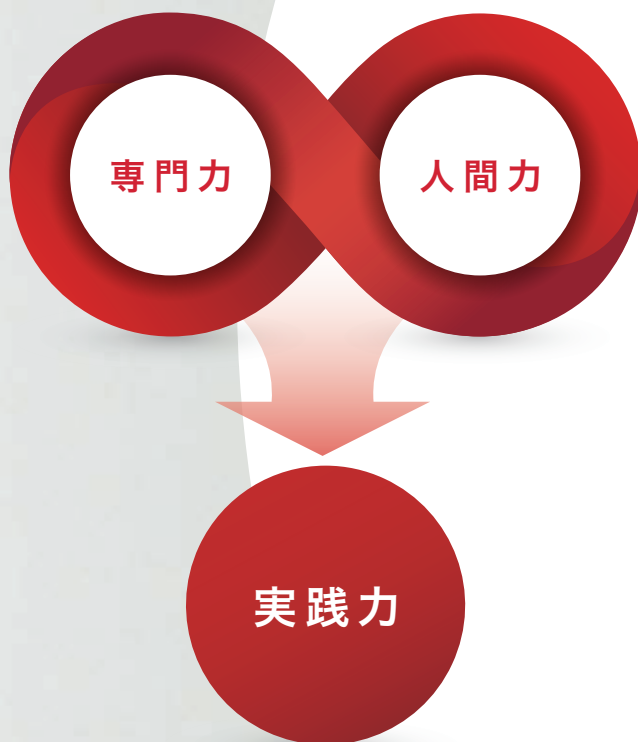
グループワークを通し「考える・伝える・行動する」力を養うとともに
人間力を培います。

学生主体のグループワークとして総合制作実習・
標準課題・開発課題を実施します。

アドミッションポリシー：求める学生像

本大学校は、産業界の変化に対応できる高度な知識と
技能・技術を兼ね備えた“自立型実践技術者”を育成することを目指しています。
このため、本大学校は、次のような方を広く求めています。

1. 大学校での学習に必要な基礎学力を有している人
2. 自己の能力向上に強い意欲を持ち、目標に向かって積極的に行動できる人
3. ものづくりに対して興味や関心があり、ものづくりに意欲を持つ人
4. 論理的に考え、他の人とコミュニケーションできる能力がある人
5. 自らの個性を発揮しつつ、他の人とも協調できる素養を備えている人
6. 創造性に富み、社会貢献に意欲を持つ人
7. 体力と忍耐力を備え、常にチャレンジする強い意志を持つ人



MESSAGE

九州職業能力開発大学校は、ものづくりの現場で活躍し、将来ものづくりの現場のリーダーとなる高度な技能・技術を持った実践的人材の育成を目的に設置された厚生労働省所管の国立の大学校です。主に高校卒業後の2年間を学ぶ専門課程と、専門課程修了後さらに2年間高度な内容を学ぶ応用課程が設置されています。卒業生は産業界よりものづくり分野の実践的人材として高い評価を頂いており、それを反映して近年は100%の実就職率を維持しています。当校には、機械系、電気系、電子情報系、建築系のものづくりに関係する4つの専攻分野が設置されています。これらは一般の大学の工学系と同様ですが、「職業能力開発大学

校」の最大の特徴は、実技実習を重視したカリキュラム構成と、チームで問題解決型のプロジェクト課題に取り組むグループワークを多く取り入れた実践型の教育です。また、1クラス20-30名の少人数教育によるきめ細かな指導を行っています。これまでは、座学を中心に学んでこられたと思いますが、当校では基礎を学ぶ座学に加えて、多くの実習により技能・技術が着実に身に付き、グループワークにより応用力、課題解決力、企画・提案能力やリーダーシップ、コミュニケーション能力などの実社会で必要な力を身に付けることができます。



九州職業能力開発大学校 校長

近藤 孝広



OPEN | OPEN THE WAY TO THE FUTURE WITH TECHNOLOGY.

HISTORY

- 1987年(昭和62年)
4月 北九州職業訓練短期大学校開校
- 1993年(平成5年)
4月 北九州職業能力開発短期大学校に改称
- 1999年(平成11年)
4月 九州職業能力開発大学校に改組
応用課程を新設
- 2008年(平成20年)
4月 専門課程の情報システム系を廃止し、
電子情報システム系を新設
- 2012年(平成24年)
4月 専門課程に電気システム系を新設

INDEX

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| 03 6つの特色 | 41 CAMPUS MAP
[キャンパス紹介] |
| 05 教育訓練システム | |
| 07 開発課題 | 43 FACILITY[施設紹介] |
| 09 生産ロボットシステムコース | 45 EVENTS・CIRCLE
[行事・サークル紹介] |
| 10 共同研究 | |
| 11 機械系 | 47 LIFE STYLE[学生生活紹介] |
| 17 電気系 | 49 入試情報 |
| 23 電子情報系 | 51 Q&A |
| 29 建築系 | 52 川内キャンパス |
| 35 キャリア支援プログラム | 53 エリアマップ |

6つの特色 “ものづくり” に徹し

POINT

1

専門性の高い教員による指導と 少人数教育で実践力を育てる

学生416名に対し、講師は38名(2023年度)

学生の教育だけでなく、地域企業の従業員の人材育成や企業との共同研究も実施する専門性を備えた講師陣が、学生一人ひとりの特性や可能性を引き出すサポートを行います。少人数制なので、対面授業が基本です。

基礎から応用まで、丁寧に指導。

建物の仕組みから使う材料まで、建築の基礎知識を座学で身に付けた後に、住宅設計や小屋の施工などを通じて、専門知識を深く学べる環境が整っていることが、お助めのポイントです。2年次には、「総合制作実習」といった科目があり、コンペ、実験、施工など自身が興味のあることをより深く学ぶことができます。自分がやりたいこと、就職前に勉強したいことに挑戦することができる大学校です。



建築科

松土 光男先生

POINT

2

実験・実習を重視した 実学融合のカリキュラム

授業の総時間の65%が実験・実習

座学で学んだことを実験・実習で確認することで知識が定着します。さらに、学んだ専門的な知識や技能・技術を活用する力を養うために、企業からの課題などを基にした学生主体のグループワークでのものづくりを行うカリキュラムを設定しています。

学びたい分野と実習の多さが 進学を決め手でした。

機械加工の実習では、実際に加工することで技術、知識を向上させることができます。質問しやすい授業の雰囲気、たくさん質問できるから意欲も湧いてきます。加工機の種類が多さも魅力です。



生産機械システム技術科

湯前 龍生さん

POINT

3

各種競技会・ コンテストへの挑戦

各専門分野で多数の賞を受賞

当校の学生は、毎年さまざまな「ものづくり競技大会」「コンテスト」に積極的に出場しています。学生は学んだ知識、技能・技術を最大限に発揮し、未来につながる結果を残しています。

[機械系]生産機械技術科(生産技術科)
第18回若年者ものづくり競技大会
(フライス盤職種)銀賞
(旋盤職種)敢闘賞



[電気系]電気エネルギー制御科
第16回若年者ものづくり競技大会
(メカトロニクス職種)金賞



[電子情報系]電子情報技術科
LSIデザインコンテストin 沖縄 2022 準優勝

[建築系]建築科
福岡県高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技入選
(会長賞、佳作、奨励賞)

た実践重視の環境

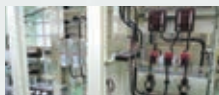
POINT

4

広い敷地と充実した 実験・実習設備

→p.41参照

13の校舎・実習棟と体育館、駐車場などが一つのキャンパス内に集結。各棟は屋根付きの通路で結ばれており、雨の日の移動も便利です。また、実験・実習に使用する機材は、企業で実際に使用されている機器類を導入しています。



POINT

5

手厚いキャリアサポート

→p.35参照

過去6年間 就職率100% (2018～2023年3月実績)

学生一人ひとりが安心して就職に向き合える「キャリア支援プログラム」を設定し、入学時よりキャリアサポートを行っています。積み重ねてきた実績から、企業の期待も大きく、求人も多数いただき、近年の実就職率は100%です。また、学生一人ひとりの希望に沿った就職を実現しているため、就業定着率は80%以上です。さらに、大学院へ進学する学生もいます。



POINT

6

国公立大学並みの 負担の少ない学費

→p.50参照

2年間で合計 約 1,100,000円 (内授業料年間39万円)

4年間で合計 約 2,100,000円 (内授業料年間39万円)

各専門分野で、企業が求める人材を育成するためのカリキュラムを負担の少ない学費で学べます。また、経済的に困窮している学生には授業料減免制度があります。

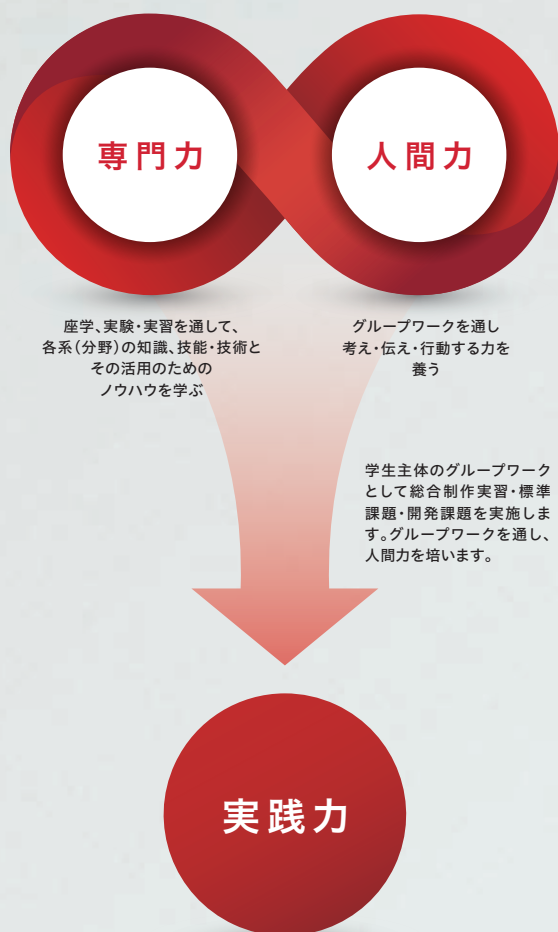


教育訓練システム

私たちは「企業が求める高度なものづくりを支える人材」を育成しています。

生産現場で必要となる技能・技術と、それに関する理論を有機的にバランスよく結び付け、
その中でも実験・実習に重点を置いたカリキュラムとなっています。
学生一人ひとりが確かな実践力を身に付けることができます。

ポリテクカレッジで身に付く力



実習では、複数の学生がグループを編成し、各人がグループ内で明確な役割を担当しながらものづくりを学びます。その中で、生産現場を意識しながら試行錯誤し、チームでものづくりに取り組むことで、様々な気づきを得ます。実践する中での気づきの経験が、社会へ出た後に大いに活かされます。

1 STEP UP 入校

専門課程 1・2年次

高校卒業者等を対象に、基礎的な技能・技術から専門分野に必要な高度な技能・技術までを体系的に習得します。

実践的な技術者

生産等に対応できる技能・技術と適切な判断能力を有する将来の生産工程のリーダー

機械系 生産機械技術科

電気系 電気エネルギー制御科

電子情報系 電子情報技術科

建築系 建築科

3 STEP UP 進学 or 就職

2 STEP UP 進学 or 就職

応用課程 3・4年次

専門課程修了者、または同等の技能と知識を有する方を対象に、高度な技能・技術や企画・開発力などを習得します。

生産の技術・管理を担う技術者

新製品の開発、生産工程の構築等に対応できる将来の生産技術・生産管理部門のリーダー

機械系 生産機械システム技術科

電気系 生産電気システム技術科

電子情報系 生産電子情報システム技術科

建築系 建築施工システム技術科

進学

大学院への進学が可能

〈進学実績〉

九州工業大学、鹿児島大学、
北九州市立大学、
大分大学、早稲田大学 他

就職

新しいステージへ

専門課程修了後、応用課程へ進学する者、就職する者に分かります。
応用課程へ進学するには、入校試験を受験し、合格する必要があります。

応用課程の

開発課題

Development Project

生産システム技術系3科の開発課題

4年次(応用課程)には、プロジェクトチームを作り、これまで学んできた知識・技能・技術の集大成として、構想企画、設計、試作、製作、評価までを行う開発課題と呼ぶ授業を受講します。特に生産システム技術系3科では、科の枠を越えてプロジェクトチームを構成し、各科の技術要素を結集させた課題に取り組みます。

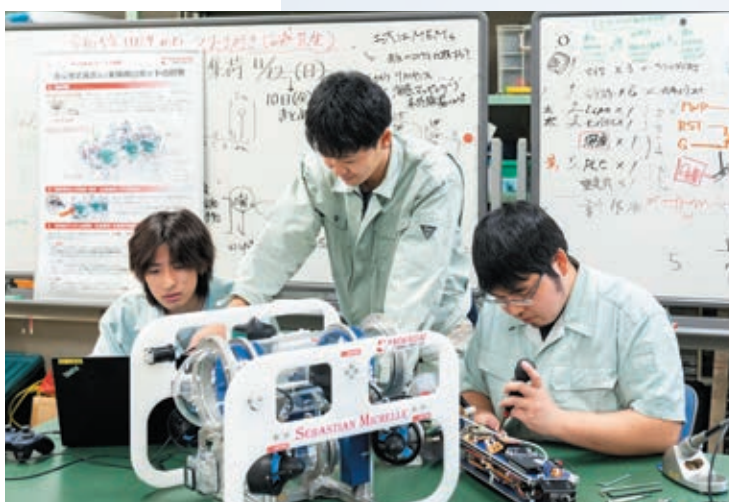
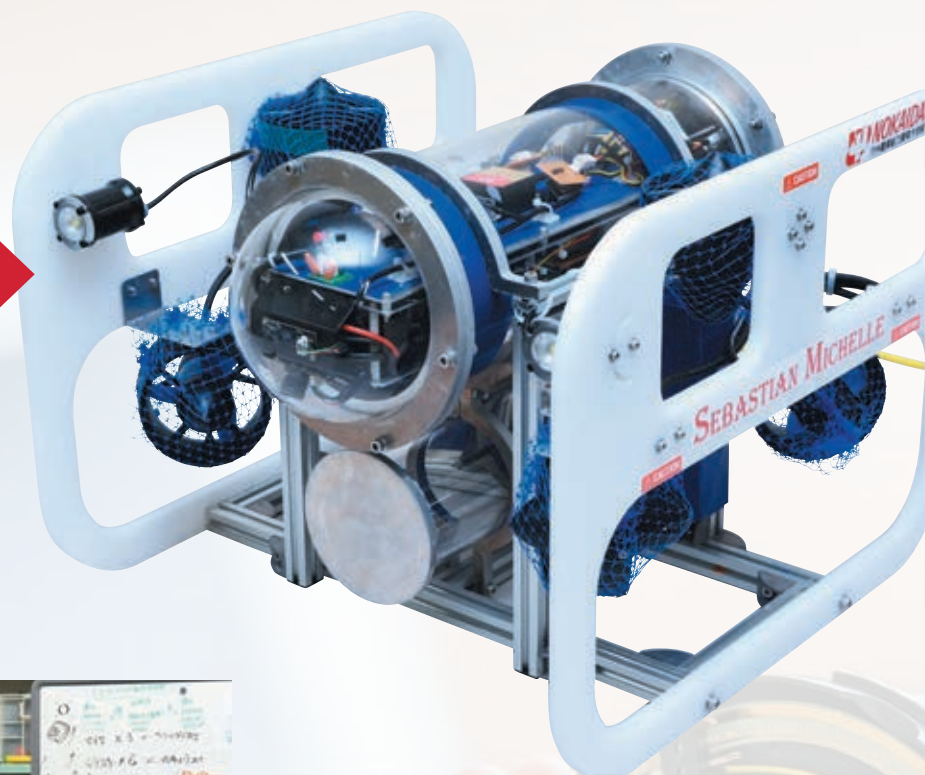
機械系

クリエイティブなデザインを
作り上げる設計部

装置全体の機械設計技術と各種加工技術を
応用し、全体の製作を担当します。

開発課題で要求される装置の構想をパソコンで
3Dモデル化します。3Dモデルを用いて強度解析
やモーション解析なども行い、各部のパーツをす
べて機械加工により製作します。

製作される装置は必要に応じて精度が必要なた
め様々な加工機を駆使して0.01mm単位の加工
を行い、精密な動作を可能にします。



海中作業用ロボット

人が直接行くことができない海中を探索するために、海中ロボットの開発を行っています。ケーブルを介して人が操作する遠隔操縦ロボット(ROV)や、全自動で海中を航行する自律型海中ロボット(AUV)の開発を進めています。また、それらの製品評価のために各種ロボットに出場したり、企業等と共同でロボット開発に取り組んだりしています。

電気系

システムに使われている
各駆動部を操る制御部

司令部のコンピュータとモータやセンサなどの
周辺部品を電氣的に接続する回路設計・製
作を行います。

モータを駆動させる回路やセンサからの信号を
処理する回路、および電源に関わる制御回路全
体を担当します。司令部からの信号がこれらの回
路に正しく伝わることで、さまざまな動きを制御
できるようになります。

電子情報系

あらゆる動きを司る司令部

機器全体をシステムとして設計します。機能ごとに分けられたサブシステムを統合し装置全体の動きを決定し、効率的に制御します。

複数のサブシステムから装置全体を構成し、統合されたシステムとして効率的に制御します。サブシステムに搭載された各種センサからの信号を、正確な値として取り込むための測定・通信回路を製作し、画像処理プログラム等とともに装置全体を効率良く動作させます。また、実用化に向けてIoT技術やビッグデータ・AI・クラウド技術を活用することで、現代の電子情報技術に対応できる技術者を育成します。

教員メッセージ

生産機械システム技術科 牟田 浩樹先生



全体を通して、学生にはチャレンジし続ける気持ち・姿勢を持ち続けてほしいです。特に若い学生にはゲームチェンジを起こし、閉塞感や過去の成功体験(現状維持)を打ち破って、前に進んでほしいです。多少の失敗は学生時代に体験しましょう。会社で失敗すると手戻りが大きいからです。査定にも響きますし。とにかくモノづくりの上流工程を体験し、限られた時間を有意義に過ごしてください。

建築系の開発課題



本テーマでは、大空間構造を想定し製作を行いました。また、本構造物の製作を行う中で、BIMを活用した計画、設計はもとより、接合部実験や構造解析に基づく構造安全性の確認やコストおよび施工性の検討を行っています。



建築物が、フローからストックの時代へと定着しつつある現代において、鉄筋コンクリートの既存建物に対し、内・外装の改修と耐震補強に取り組みます。

古い建物を壊し新築する時代から、既存建築物を維持・管理し、長きにわたって使用する時代へと変革していく現代。地震大国と言われる日本において、被災状況から構造の仕組みも変わっていきます。建築物の改修として、内外装だけでなく、耐震診断に基づいた根拠のある耐震改修に取り組みます。

教員メッセージ

建築施工システム技術科 谷畑 伸一郎先生



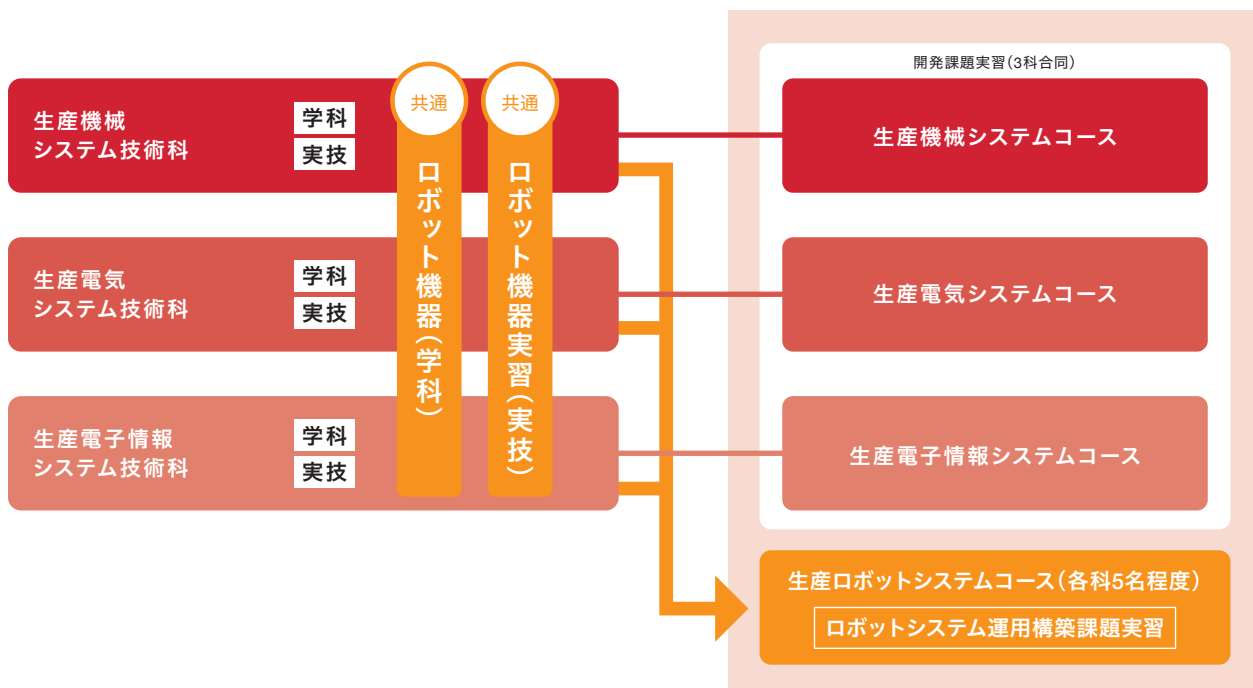
標準課題では、学生数が多いことから専門性をパートごとに分けていましたが、開発課題では少人数(6名程度)であることから全てのパートの熟知が求められます。将来の施工管理職に向けて、施工計画・実施工・施工管理の一連の活動を体験いただきたいです。当校はものづくりの実践現場の再現として各種実習が充実しています。実習のために必要な座学も前段としてあります。つまり、実学一体の仕組みです。ものづくりに興味のある方には最適な大学校です。

生産ロボットシステムコース

Robot system course

未来のロボット 未来の社会を支える
設計・開発を担う技術者を目指す

カリキュラムには、生産システム技術系3科の応用課程学生が受講するロボット共通科目(学科と実技)があります。



生産ロボットシステムコース 開発課題実習概要

ロボットシステム運用構築課題実習

「ロボット技術を活用した生産システムの構築、運用管理、保守及び改善」に資するテーマ

※ロボットの種類は産業用ロボット、協働ロボットを想定。ロボット技術に加え生産システムを意識した課題である。

生産ロボットシステムコースの目標は？

各科の強みを活かし、ロボット技術を活用した生産システムの構築、運用管理、保守および改善ができる「将来の生産技術・生産管理部門のリーダー」の育成。

どうすれば、生産ロボットシステムコースを専攻できるの？

応用課程(生産機械システム技術科、生産電気システム技術科、生産電子情報システム技術科)に入校し、3年次の3月までにコースを選択します(定員:各科5名程度)。

生産ロボットシステム構築実習装置



垂直多関節ロボット



垂直多関節ロボット



パラレルリンクロボット



双腕多関節ロボット

共同研究

Joint research

地域の中小企業等が抱える技術力強化等の課題解決のため、共同研究や受託研究を行い、省力化や機能性向上等に関する技術的支援を通じて地域社会に貢献するとともに、地域産業界との連携を通じて、生産現場のノウハウや最新の技術動向を把握し、実験・実習の授業の充実に役立てています。

「共同研究」は、民間企業等と連携して行う研究で、お互いに相応の費用を負担することとなります。

【課題例】



「自動ねじ締めシステムの開発」

従来の工場のライン作業では人手不足や品質のバラつき、コストが高いなどの課題があり、近年ではこれらの課題を解決するために工場の自動化が進んでいます。本研究では製造業の基本とも言えるねじ締め作業に着目し、ねじ締め作業のワークとねじの供給から排出までの一連の動作を自動で行うシステムを開発しています。締め付けの強さの制御を行うことで、締め付け精度の向上やカメラでの異常検出による品質向上などのメリットに期待できます。また、専用アプリケーションでの見える化もっており、生産数や不良品数の確認や管理も容易に行うことができます。



「空家を改修しフリースクールをつくる」

外部からの依頼で空家を改修し、小学生が利用することができるフリースクールをつくっています。床のデザインなどの意匠を施主様へ提案し、施工まで行いました。大学生のうちに実物件の施工に携われることと、施主様の喜ぶ声を直接聞けることは、大変貴重な経験であるとともに、より一層のやりがいを感じられます。将来は住宅を建てられるようになり、さらに空家を改修して新しい使い方を普及させたいです。そのために、日頃の授業で学んだことを活かせるように集中して取り組んでいます。



機械系

Mechanical System

機械系では、工業製品の製造に必要な機械設計、精密加工、機械制御などの生産技術について学びます。1・2年次に相当する生産機械技術科(生産技術科)では、生産技術に必要な専門知識を学科・実技・実験を通して学び基礎の土台作りを行います。さらに設計から製作までのものづくりの一連の流れを学ぶことで、理解を深め、考える力、まとめる力を養います。3・4年次に相当する生産機械システム技術科では、これまで学んだ生産技術の知識・技術をより深め、グループワークを通じて生産工程の管理・改善・運用についての手法を学びます。4年次では、他科との連携を通じて習得した知識・技術を融合させ、製品の企画開発に活かします。

機械系の活かせる分野

自動車の製造分野

工業製品のベースとなる設計・加工・制御を学び、自動車製造に活かす。

自動化機器の製造分野

製品企画から設計・加工まで、ものづくりの一連の流れを学び、ロボットや自動化機器の分野で活かす。

プラントメンテナンス分野

生産設備の安定した稼働のため、工場設備の維持、管理、改善の分野で活かす。

Qualifications

資格

在校中に受験可能

- 技能検定
機械保全/旋盤/フライス盤/マシニングセンタ/数値制御旋盤/機械検査/機械プラント製図
- 機械設計技術者 ●CAD利用技術者 など

2023年度合格実績

- 技能検定2級普通旋盤作業実技試験 14名
- 技能検定2級フライス盤作業実技試験 3名

競技会等での活躍

九州ポリテクカレッジでは、毎年、積極的に競技会に参加しています。そして、多くの功績を残しています。



フライス盤職種作業中の学生

第18回 若年者ものづくり競技大会 フライス盤職種銀賞・旋盤職種敢闘賞受賞 2023年7月30日～8月1日

九州能開大からは、フライス盤職種と旋盤職種に生産技術科2年生が出場しました。全国の職業能力開発施設や工業高校等において技能を習得中の若年者(原則20歳以下)が集まり、与えられた課題について技能レベルを競い合いました。フライス盤職種・旋盤職種ともそれぞれ20名が参加し、課題を3時間以内に図面の指示通りに加工します。課題にはいろいろな加工要素が含まれており、1/100mmの加工精度が要求されます。また、2つの部品をはめ合わせなければならず、いかに手際よく高精度の加工ができるかが腕の見せ所です。大会当日は積み上げてきた技能を発揮することができ、フライス盤職種で銀賞(2位)、旋盤職種で敢闘賞(4位)を受賞しました。

教員からのメッセージ

生産機械技術科

専門課程 | 1年次 / 2年次

生産技術に必要な専門知識を学科・実習・実験を通して学び、基礎の土台作りを行います。さらに設計から製作までのづくりの一連の流れを学びグループワークを行うことで、考え行動する力を養うことができます。

ものづくりに対して興味や関心がある皆さん、設備が整った環境で、経験豊富な先生のもと、世にないOnly Oneを形にしてみませんか？



松原 和範先生
生産機械技術科

生産機械システム技術科

応用課程 | 3年次 / 4年次

機械系では、ものづくりに必要な機械設計、精密加工、機械制御について学びます。少人数制の技術習得に最適な環境の中、知識や技術に関する「テクニカルスキル」と良好な人間関係をつくる「ヒューマンスキル」を習得し、職場のリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的に指導を行っています。

応用課程で成長する力を磨き、社会で活躍できる人間力を高めてください。



大庭 英樹先生
生産機械システム技術科



生産機械技術科

Department of Production Engineering Mechanical Systems

身近にある金属部品やプラスチック部品の加工、
機械の設計に必要な知識と技術を学びます。

パソコンで機械装置を設計し、部品を製作して組み立て、さらに制御して動かす、というプロセスを実習を通じて習得します。生産機械技術科では、自ら「ものづくり」のできるエンジニアを目標に、機械設計技術、機械加工技術、機械制御・保全技術の3本柱を中心として実践技能者の育成を行っています。総合制作実習では、企画・構想から、設計、加工、組立、検査、そして評価といった一連のものづくりについて学びます。



※令和6年度から募集科名を生産技術科から生産機械技術科に変更しています。

Point 01

機械設計技術

3次元CADを活用して、
精密機械を
設計する技術を学びます。

Point 02

精密加工技術

金属を0.01mm単位で削って、
精密部品を作る技術を
学びます。

Point 03

制御技術

工場内で使われる
ロボットや自動機を動かす
制御技術を学びます。

Curriculum

カリキュラム

1 年次／1・2 期		1 年次／3・4 期		2 年次／5・6 期		2 年次／7・8 期			
知る 生産技術への招待		学ぶ 生産技術の基礎		考える 生産技術のシステム		まとめ システムの構築			
各期ごとの教育訓練目標		加工の基礎や制御技術の基礎的な土台作りを行い機械加工の概念を知る。		生産技術に必要な基本的な専門知識等を学科・実技を通して学ぶ。		生産技術の基礎的知識を踏まえて、CADやNC工作機械の活用技術を学び知識を広め、考える。		最新のCAD / CAM / CAEによる機械設計・NC工作機械による精密加工技術の習得により物の設計から製作までの一連の流れをまとめる。	
専門科目	学科	●電気工学概論(2) ●コンピュータ基礎(2) ●工業材料(2) ●工業力学(2) ●基礎製図(2) ●機械製図(2) ●安全衛生工学(2) ●機械加工(2) - 安全ビジネスコミュニケーション(1)		●機械数学(2) ●材料力学(2) ●品質管理(2) ●機械工作(2) ●数値制御加工Ⅰ(2) ●機械要素設計(2) ●精密測定(2) ●油圧・空圧制御(2) ●シーケンス制御(2)		●総合力学(1) ●数値制御(2) ●数値制御加工Ⅱ(2) ●メカニズム(2) ●機械設計製図Ⅰ(2) ●機械設計製図Ⅱ(2)		●機械制御(2) - センサ工学概論(2)	
	実験・実技	●基礎工学実験(2) ●電気・電子工学実験(2) ●情報処理実習(2) ●CAD実習Ⅰ(2) ●機械加工実習(4)		●情報処理実習(2) ●CAD/CAM実習Ⅱ(4) ●機械加工実習(4) ●数値制御加工実習Ⅰ(2) - 精密加工実習(2) ●シーケンス制御実習Ⅰ(2) ●測定実習(2)		- CAD実習Ⅲ(2) ●CAD/CAM実習Ⅰ(2) ●機械工作実習(2) ●数値制御加工実習Ⅱ(2) - 精密組立実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(8) ●シーケンス制御実習Ⅱ(4) - メカトロ機器製作実習Ⅰ(2) ●機械設計製図実習(2)		●機械工学実験(4) ●CAD/CAM実習Ⅰ(2) - CAD/CAM実習Ⅱ(2) ●機械加工実験(4) ●機械工作実習(2) - センサ実習(2) - メカトロ機器製作実習Ⅱ(2) ○企業実習(4) ○総合課題実習(4) ●総合制作実習(12)	
一般教育科目		●物理(2) ●数学(2) ●英語Ⅰ(2)		●職業社会概論(2) - 法学(1) 英語Ⅱ(2) 保健体育(2)		●工業英語(2) ●キャリア形成概論(2)		心理学(1)	

※()内の数字は単位。●:必修科目(出席が80%以上で評価点が60点以上必要) ○:選択科目(1科目を選択し履修する)
科目は156単位以上を履修する必要があります。

Practical Subjects

実習科目



CAD実習

パソコン上で図面や立体モデルを作成するCADを学びます。3次元の部品を組み立てて、製品全体の検討ができます。



機械加工実習

旋盤・フライス盤などの工作機械の基本操作を習得するとともに、加工方法・手順について学びます。



測定実習

製作した部品の寸法や形状が図面通りか測定して確認します。精密部品を高精度で測定できる機器の使用法および測定原理を習得します。



数値制御加工実習

部品を自動で加工するためのNCプログラムを作成します。さらに機械操作・実際の加工までの一連の流れを学びます。



機械工学実験

様々な物理現象を観察し、結果をまとめ考えることで、物事を理論的に考察できる能力を養います。



シーケンス制御実習

順序通りに機械を動かすシーケンスプログラムの作成、PLCの使用法について学びます。

Voice of Teacher

教員メッセージ

生産機械技術科に入学する学生の多くは機械に関する知識が少ないです。ですが、基礎からしっかりと学ぶことができ、授業の約7割が実験・実習になるので、座学で学んだ知識を活かして技能・技術を身に付けることができます。また、若年者ものづくり競技大会への参加や、技能を高めるために技能検定取得に向けた取り組みもあるため、やる気があればいろいろな挑戦することができます。授業科目が多いため勉強は大変ですが、一人ひとりが少しでも多くの技能や技術・考える力を身に付け、長い職業人生で活躍できるように、私たちと一緒に学んでいきましょう。基礎からしっかりと学んで、基礎的な部分から専門的なものづくりに関する技能・技術まで身に付けてください。

生産機械技術科 永田 拓馬先生



生産機械システム技術科

Department of Production Engineering Mechanical Systems

NC精密加工・製品設計・計測制御の 知識・技術を学ぶ。

自動車、精密機械、金型、ロボット、自動化機器などにおける製品企画、設計、生産システム、生産管理などの分野で活躍できる高度な機械技術者を目指します。



Voice of Graduate 卒業生の声

装置が完成した時の達成感を感じます！

六連 太一さん 生産機械システム技術科 卒業(日鉄テックスエンジニアリング株式会社)

開発課題では、装置の設計開発だけでなく、グループワークを通じてコミュニケーション能力、リーダーシップなども学んでいます。何も無いところからスタートし学生同士で意見を出し合い、1つの装置を作り上げるため、装置が完成し動いた際には達成感を得ることができます。他の大学と違い実践的な授業が多く、自分の成長が目に見えてわかります。現在は学生時代のスキルを活かして、日鉄テックスエンジニアリング株式会社のプロセス装置設計グループでエンジニアとして頑張っています。



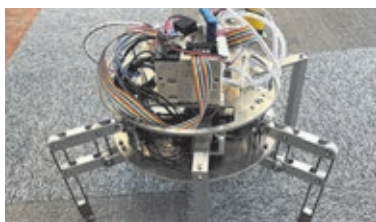
Curriculum カリキュラム

3 年次			4 年次
目 標	技能・技術の理解をして課題分析ができる。		課題に対する提案と開発を行い、報告書作成と発表ができる。
専攻学科	工業技術英語(2) 生産管理(2) 品質管理(2) 経営管理(2) 工業法規(2)	製品材料設計(2) 精密機器設計(2) 機械工学特論(2) 精密加工応用(2) 計測制御(2)	センシング(2) 自動化機器(2) ロボット機器(2) 生産情報処理(2) 安全衛生管理(2)
専攻実技	電気電子機器実習(4) 情報機器実習(2) CAD/CAM応用実習(6) 精密加工応用実習(8)	自動化機器応用実習(4) ロボット機器実習(2) ロボット機器応用実習(2)	精密機器設計課題実習(2) 精密機器製作課題実習(10) [A] 自動化機器設計課題実習(2) 自動化機器製作課題実習(10) [B]
応 用			計測制御応用実習(4) センシング応用実習(2) 生産自動化システム(2) 生産情報処理実習(2) CAE実習(2) 精密機器設計製作課題実習 金型設計製作課題実習 自動化機器設計製作課題実習 自動化システム運用構築課題実習 ロボットシステム運用構築課題実習 (54)

※()内の数字は単位。[A]、[B]は選択科目(1科目を選択し履修する)。

Practice on Standard Assignments 標準課題実習

現場に近い形で、グループで協力して製品を作り上げます。今まで培った技術と技能を応用して課題実習に取り組みます。コミュニケーションスキルやマネジメント手法を実践しながらものづくりの一連の流れを習得します。



全方向歩行型ロボットの製作

平衡リンク機構を利用した脚と、XYテーブルと一体化した脚を交互に移動し、全方向移動を可能にした歩行型ロボットを製作します。



自動化機器設計課題実習

3次元CADを使って全方向歩行型ロボットの部品設計やモデリング、評価を行います。



自動化機器製作課題実習

全方向歩行型ロボットの部品製作や組立調整、歩行動作のプログラミングを行います。

Development Project Practice

開発課題実習 / 4年次 ―実践力を養う学生主体のグループワーク

プロジェクトテーマ

『農業支援用ロボットの開発』

生産システム系の3科の学生が専門分野を活かし、荒地化した土地を再利用可能な土地に戻すことを目的にシステムの開発を行っています。LiDARセンサを活用した現実環境の仮想化とDB化を行い、3Dマップとしてマッピングすることで現地に赴かずとも地形の把握を行えるシステムを構築します。また、最終目標としてDB化したデータから草が生えている地形データを識別し、そのデータを送信して自動で草刈りを行うロボットを製作します。



農業支援用ロボット



在校生の声

開発課題では一年を通して機械系・電気系・電子情報系の3科が合同でロボットやシステムの設計・開発を行います。私は農業支援用ロボットの開発(1年目)を行っており、開発グループリーダーとして自分の担当の設計や加工のほかにスケジュール調整などを行っています。他科のメンバーと話し合いを行うため時間が押すことが多く忙しいですが、プロジェクト全体の進捗を把握でき、着実に完成に向かっていく実感を一番強く感じることができるので、そこにやりがいを感じます。就職の役に立つ大学です！私も第一希望の会社に入社をいただきました。就職してからが楽しみです。

土崎 拓哉さん 生産機械システム技術科(鹿児島県立開陽高等学校出身)

電気系 Electrical System

電気系では、電気設備の保守管理を行うための電気技術、太陽光・風力発電などの再生可能エネルギーを含めたエネルギー技術、工場内での自動化やプログラムによる制御技術を学びます。

電気は、社会のインフラを支える大切な技術です。また、電気技術者は、電力供給から電気の利用まで幅広い分野で活躍が期待されています。実学一体のカリキュラムにて、電気の知識だけでなく実験・実習を通して技能・技術を学び、次世代のインフラを支える電気技術者を目指します。

電気系の活かせる分野

電気設備の施工・保全分野

電力管理、環境エネルギーを学び、電気設備の施工・保全分野で活かす。

製造分野

生産自動化機械の施工・管理・保守を学び、製造分野で活かす。

生産機械の設計・開発分野

自動化機械の開発、製造ラインの構築を学び、電気・機械の設計・開発につなげる。

Qualifications 資格

在校中に取得可能な資格

- 技能検定
機械保全／電子機器組立て／シーケンス制御作業／電気製図
- エネルギー管理士
- 第三種電気主任技術者
- 施工管理技術検定
- 第一種電気工事士
- 第二種電気工事士
など

競技会等での活躍

九州ポリテクカレッジでは、毎年、積極的に競技会に参加しています。そして、多くの功績を残しています。



大会会場にて記念撮影(左:藤田さん、右:福田さん)

第18回 若年者ものづくり競技大会 メカトロニクス職種 (電気エネルギー制御科)

2023年8月2日

8月2日(水)にツインメッセ静岡にて、第18回若年者ものづくり競技大会メカトロニクス種目が開催されました。九州能開大では、電気エネルギー制御科2年生2名(福田 翔悟さん、藤田 匡哉さん)がチームとして出場しました。メカトロニクス種目は、1チーム2名で競技が行われ、全25チーム50名が参加する中で実施されました。競技課題は、支給された部品および図面をもとに、模擬生産設備の機械装置、電気回路、および空気圧回路を組み替え、調整を行います。さらに、3つのステーションを組み合わせた模擬生産設備を構築し、仕様書通りワークが搬送されるように動作プログラムを作成します。競技時間内に生産設備を動作させるためには、選手個々の技能・技術もさることながら、2人のチームワーク力も要求される競技となっています。九州能開大チームは、日頃の練習の成果を発揮しました。

教員からのメッセージ

電気エネルギー制御科

専門課程 | 1年次 / 2年次

電気は難しく、仕事も電気工事だけというイメージが強いと思います。当校では電気の基礎知識から学び、プログラミング技術なども身に付けることができます。工場やビルなどの電気設備のメンテナンスはもちろんのこと、より効率的でコストを抑えた製品の製造を行うための技術や設備開発を行える人材になりませんか。



杉原 崇洋先生
電気エネルギー制御科

生産電気システム技術科

応用課程 | 3年次 / 4年次

これまで、勉強なんか何が面白いんだ、かったるい、何の役に立つんだと思いつつも、何となく進学しようとしている高校生の方へ。当校で“ものづくり”を通して技術を学び、学んだ知識でものを作り上げる喜びを感じませんか。自分で考えて作ったものが動く楽しいですよ。



久場 政洋先生
生産電気システム技術科



電気エネルギー制御科

Department of Electrical Energy Control

工場の自動化ができる技術を学ぶとともに、
工場やオフィスビルの電気設備に関する
施工・保守・管理について学びます。

今後、益々重要となる工場の無人化や省エネルギー化、再生可能エネルギーの利用及び分散電源(太陽電池や風力発電など)の活用などを意識した設備の改善ができる実践技術者を目指します。



Point 01

電気技術

電気の基礎から、
電気設備の保守管理を
実施する。

Point 02

エネルギー技術

太陽光・風力発電など
環境・エネルギー技術を
学ぶ。

Point 03

制御技術

工場内の自動化や
制御プログラミングを
習得する。

Curriculum カリキュラム

1 年次／1・2 期		1 年次／3・4 期	2 年次／5・6 期	2 年次／7・8 期
各期ごとの 教育訓練 目標	知る	学ぶ	考える	まとめ
	電気技術基礎を確立 電気の基礎や制御技術の基礎的な土台作りを行い電気や制御についての概念を知る。	制御技術の習得 電気や電子技術に必要な基本的な専門知識等を学科・実技を通して学ぶ。	制御技術と電気エネルギー 電気・電子の基礎的知識を踏まえて、シーケンス制御・マイコン制御・エネルギー技術へ知識を広め、考える。	システムの構築 学んだことをベースにして、電気機器の有効利用やFAシステムの構築を行う。
専 門 科 目	学 科	●電気工学Ⅰ(2) ●電子回路工学Ⅰ(2) ●電磁気学Ⅱ(2) ●電気回路Ⅰ(2) ●電気回路Ⅱ(2) ●電気数学Ⅰ(2) ●電子回路工学Ⅱ(2) ●安全衛生工学(2) ●機械工学概論Ⅰ(2) ●シーケンス制御(2) ●電気設備(2)	●電気数学Ⅱ(2) ●制御工学Ⅰ(2) ●機械工学概論Ⅱ(2) ●電気・電子計測(2)	●電気機器学Ⅰ(2) ●電力管理(2) ●インタフェース技術(2) ●制御プログラミング(2) ●環境エネルギー工学(1)
	実 験 ・ 実 技	●電気工学基礎実験(4) ●電子工学基礎実験(2) ●機械工作実習(2) ●シーケンス回路実習(4)	●電子工学基礎実験(2) ●電子回路基礎実験(4) ●情報工学基礎実習(4) ●機械工作実習(2) ●シーケンス制御実習Ⅰ(4) ●空気圧実習(2) ●電気設備実習(2) ●CAD実習(4) ●電気・電子計測実習(2)	●シーケンス制御実習Ⅱ(2) ●産業用ロボット制御実習(2) ●制御盤製作実習(2) ●電気機器実験(2) ●電力管理実習(2) ●電工学実習(2) ●制御プログラミング実習(4) ●電子CAD実習(2)
一 般 教 育 科 目		●物理 ●数学 ●英語Ⅰ	●職業社会概論 法学 英語Ⅱ 保健体育	●工業英語 ●キャリア形成概論
				心理学

※()内の数字は単位。●:必修科目(出席が80%以上で評価点が60点以上必要) ○:選択科目(1科目を選択し履修する)
科目は156単位以上を履修する必要があります。

Practical Subjects 実習科目



電子回路基礎実験

電子回路で使用する部品の特性を実験します。LED、トランジスタや論理回路を理解することにより、マイコン制御を学ぶ上における基礎を学んでいきます。



電力管理実習

電力受電設備の取扱い方を習得することにより、電力管理やエネルギー管理の実務を理解するとともに、電力設備に関する計画・施工・管理について学習します。



自律型ロボット製作実習

センサ、電子回路を組み合わせ、マイコン制御でロボットをコントロールする技術を学びます。白線のラインを検知し、ラインから外れないように走行させます。



環境エネルギー実験

ヒートポンプや再生エネルギーなどの省エネルギー技術や環境にやさしい太陽光や風力などの自然エネルギーを有効に利用するための技術を学んでいきます。



FAシステム実習

製造現場の自動組立ラインを想定し、産業用ロボット、空気圧機器、タッチパネルを組み合わせ、通信ネットワークを利用した製品組立・搬送を自動で行えるようプログラミングを行います。



産業用ロボット制御実習

産業用ロボットの構造や特徴を理解し、実際にティーチングやプログラム作成を行うことで、ロボットの制御方法を学んでいきます。

Voice of Teacher 教員メッセージ

電気の法則や電子回路を構成する素子の特性などの測定を通して学ぶ、電気工学基礎実験や電子工学基礎実験を担当しています。また、情報工学基礎実習や制御プログラミング実習も担当しており、C言語というプログラミング言語の習得やマイコンを用いた周辺機器の制御を学びます。少人数制を採用しているため、座学や実習でも先生や友達に聞きやすい環境なのではないかと思います。当校では、皆さんがやりたいものになるためのお手伝いをすることができると思います。そのためには、皆さんが何になりたいのかを可能な限り明確にし、そのための実行力を持っていただくことが、それを可能にすると考えます。

電気エネルギー制御科 朝長 成吾 先生



生産電気システム技術科

Department of Production and Electrical Systems Technology

**自然エネルギー利用技術、電動力応用技術、
工場自動化技術を養い、
電気電子回路の設計製作技術を学ぶ。**

自然エネルギー利用技術、電動力応用技術、工場自動化技術の能力を養い、電気電子回路の設計製作を基本として、企画開発能力や生産管理能力およびプロジェクト推進能力を身に付け、省エネルギー化や環境に考慮したシステムや製品の企画・開発から生産工程の改良・改善・運用・管理などに対応できる高度なテクニシャンエンジニアの育成を目指します。



Voice of Graduate 卒業生の声

必要な知識やスキルの習得に日々精進しています

大寺 史耶さん 生産電気システム技術科 卒業(鹿児島県立川内商工高等学校出身)(株式会社安川電機)

現在はパワーエレクトロニクスに関する基礎技術の研究／開発業務に携わっています。産学連携にも力を入れており、アカデミックな最先端技術を吸収／活用しつつ、新たな技術開発に取り組んでいます。技術開発を進める中で、思い通りにいかないこともあります。これまで培った知識と経験を活かし、多角的に要因を分析することで問題を解決しています。高く大きな壁にぶつかるほど、問題解決に至ったときの喜びとやりがいが大いに感じます。今しかないこの時に、様々なことに挑戦して、有意義な学生生活が送れることを期待しています。



Curriculum カリキュラム

3 年次				4 年次
目 標	技能技術の理解をして課題分析ができる。			複合した技能・技術の活用・実践ができる。
専攻学科	工業技術英語(2) 生産管理(2) 品質管理(2) 経営管理(2) 工業法規(2)	機械工学概論(2) 電気設備管理及び電気法規(2) 発変電工学(2) 送配電工学(2) ロボット機器(2)	自動計測(2) パワーエレクトロニクス(2)	創造的開発技法(4) 職業能力開発体系論(2) 応用電子回路(2) 新エネルギー技術(2) エネルギーマネジメントシステム(2) 安全衛生管理(2)
専攻実技	機械工作・組立て実習(4) CAD/CAM応用実習(4) 電子装置設計製作実習(4) 電気設備設計製作実習(4)	ロボット機器実習(4) 自動計測実習(2) コンピュータ応用実習(4) 電動応用機器実習(4)	パワーエレクトロニクス実習(4) 発電電力制御システム設計製作課題実習(10) 電動車両走行システム設計製作課題実習(10)	ロボット電気装置設計製作実習(8) 自動化システム応用実習(4)
応 用				電動応用装置設計製作課題実習 工場自動化システム設計製作課題実習 自然エネルギー応用装置設計製作課題実習 ロボットシステム運用構築課題実習 (54)

※()内の数字は単位。

Practice on Standard Assignments 標準課題実習など

現場に近い形で、グループで協力して製品を作り上げます。今まで培った技術と技能を応用して課題実習に取り組みます。コミュニケーションスキルやマネジメント手法を実践しながらものづくりの一連の流れを習得します。



発電電力制御システム設計製作課題実習

太陽光発電システムで使われる系統連系技術(パワーコンディショナ)について、回路設計・シミュレーション・実機製作および動作特性評価までを一貫して行います。



電動車両走行システム設計製作課題実習

モータ制御の一例として電動車両用モータ制御システムの設計・製作を習得し、マイクロコンピュータのプログラム開発と電力素子を用いたパワーエレクトロニクスの実践的な回路技術を習得します。



電気装置設計製作実習

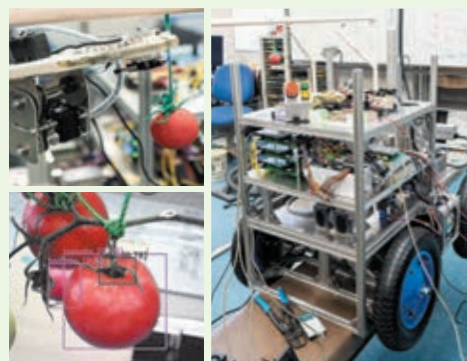
FAシステムの構築を習得するための一例として、折り紙飛行機を折る工程を機械化するにはどのようにすれば良いのかを考え、企画開発・設計・製作・製品評価までの一連の実習を行います。

Development Project Practice 開発課題実習／4年次 ―実践力を養う学生主体のグループワーク

プロジェクトテーマ

『圃場作業用農業ロボットの開発』

現在、日本の農業現場では農業従事者の高齢化や人手不足のため深刻な労働力不足となっています。こうした問題を解決する切り札として期待されているのが農業用ロボットです。本開発ではトマトを収穫するロボットの製作を進めています。製作の中で企画・設計・試作・製作・評価のプロセスを経験しています。また「トマトロボット競技会」への参加や各種スマート農業関連の情報収集等を通して、他大学やその他関係機関との技術・情報交流を図り、自らの技術力とコミュニケーション能力を向上させ、今後エンジニアとして社会に役立つ人材として成長することを目的としています。更にトマト以外の農作物(例えば、イチゴやアスパラガス等)の認識や非接触でバッテリーを充電する装置製作にもチャレンジしています。



在校生の声

私は圃場作業用ロボットの開発をしています。ここではトマトなどの農作物を収穫するロボットを製作していて、私は電源部と非接触給電を担当しています。回路の設計も難しいですが、3科での情報共有やスケジュール管理もとても大変です。でも、実験がうまくできるときや学習したことを活かしたときは達成感があって面白さを感じます。先生との距離も近く、他の学校では経験できない実習ができるのでぜひ来てください。

樋口 葵さん 生産電気システム技術科(福岡県立育徳館高等学校出身)

電子情報系

Electronics Information Systems

電子情報系ではハードウェアとソフトウェアの両面から知識・技能・技術を学びます。

ハードウェア分野では、LEDや各種センサ、モータなどの制御回路の設計・製作技術を学びます。ソフトウェア分野では、PC上で動くアプリケーションの制作や、マイコンを使いハードウェアを制御するプログラムの制作技術を学びます。また、グループワークを通して、社会人や技術者として必要な企画力やプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を向上させることができます。

電子情報系の活かせる分野

電気電子回路分野

電気電子回路を
基礎から学び、
設計開発製造分野で
活かす。

組み込みシステム分野

IoTに必要な不可欠な
組み込み機器について学び、
組み込みシステム分野で
活かす。

情報・通信システム分野

基礎のアプリケーション
開発から、DBやwebアプリ
ケーションの開発手法を学び、
情報・通信システム分野で
活かす。

Qualifications

資格

在校中に取得可能な資格

- 技能検定
電子機器組立／電子回路接続／プリント配線板製造
- 基本情報技術者
- 組み込みソフトウェア技術者
- 工事担当者(ネットワーク接続技術者)

競技会等での活躍

九州ポリテクカレッジでは、毎年、積極的に競技会に参加しています。そして、多くの功績を残しています。



競技中の電子情報技術科の学生

第18回若年者ものづくり競技大会 電子回路組立て職種

2023年8月2日

電子回路組立ては、はんだ付け作業による回路組立て課題および当日に出題されるプログラミング課題の2つの課題に取り組みます。プログラミング課題には通信課題も含まれているため、電子情報系で学ぶすべての要素が含まれた競技となっており、組み込み回路の製作に必要なはんだ付けスキルと組み込みプログラミングスキルの技能・技術の向上を目指しています。

教員からのメッセージ

電子情報技術科

専門課程 | 1年次 / 2年次

専門課程2年間で短大卒として就職する、さらに、応用課程で2年間学ぶことで4年制大学卒として就職または、大学院への進学が目指せる、学びながら将来の方向を選択できる大学校です。将来、ものづくり関係の仕事に就きたいと考えている学生のみならず、ぜひ当校を検討してみてください。



諏訪原 秀樹先生
電子情報技術科

生産電子情報システム技術科

応用課程 | 3年次 / 4年次

応用課程ではスマート社会の実現を目指して、専門課程で学んだことをもとに応用技術を習得し、AI、IoT、ロボット技術を活用した生産装置・生産設備の開発を行います。当科での経験がエンジニアとしての将来の礎となるよう、最新の開発テーマと開発環境を準備しています。電子回路やプログラミングが大好きで、目標達成に向けて自発的に取り組める人をお待ちしています。



寺内 越三先生
生産電子情報システム技術科



電子情報技術科

Department of Electronics and Information Technology

ロボットや家電に代表される組込み機器を
製作するための知識と技術を学びます。

機器の製作には、電子回路を設計・製作するためのハードウェア技術と機器の動作を制御するためのソフトウェア技術が必要になります。電子情報技術科では、ハードウェア技術とソフトウェア技術の両方に精通した実践技術者を目指します。



Point 01

ハードウェア

モータ駆動回路など、
組込み機器を構成する
電子回路技術を学ぶ。

Point 02

ソフトウェア

組込み機器などの
動作を制御する
プログラミング技術を学ぶ。

Point 03

通信ネットワーク

情報を送受信する
通信ネットワーク技術を
学ぶ。

Curriculum カリキュラム

1 年次／1・2 期		1 年次／3・4 期	2 年次／5・6 期	2 年次／7・8 期
各期ごとの 教育訓練 目標	知る 電子情報システム系への招待 電子情報システム系の技術者に 欠かすことのできない基本的な 知識・技能を習得します。	学ぶ 電子情報技術の基礎 電子情報に必要な電子回路と情報処理の基 本的な専門知識と技能を学科・実技を通して 習得します。	考える 回路設計製作と制御プログラミング マイコンボード、インタフェース回路の設 計製作、制御プログラムの制作を通して 設計製作技術を習得します。	まとめ 組込み機器の設計製作 学んだことをベースにして組込み機 器の設計製作及び制御プログラムの 制作を行います。
専門科目	学科	●電磁気学(2) ●電子回路(2) ●情報通信工学(2) システム設計概論(2) ●データ構造・アルゴリズム(2) ●電子情報数学(2) ●組込みシステム工学(2) ●デジタル回路技術(2) ●センサ工学(2)	●アナログ回路技術(2) ●マイクロコンピュータ工学(2) ●組込みオペレーティングシステム(2) ●計測制御技術(2) ●組込みソフトウェア応用技術(2) ●ファームウェア技術(1) ●インタフェース技術(2) ●ネットワーク技術(2)	●環境・エネルギー概論(2) ●生産工学(2) ●ファームウェア技術(2) ●DXと関連技術(2)
	実験 実技	●電気電子工学実験(4) - 自動制御実習(4) - 電子機器組立て実習(2) - コンピュータ基礎実習(2) ●組込みソフトウェア基礎実習(4) - GUIプログラミング実習(2) - 基礎工作実習(4)	●アナログ回路基礎実習(2) ●デジタル回路基礎実習(2) ●情報通信工学実習(2) ●データ構造・アルゴリズム実習(2) ●機械工作実習(2) ●デジタル回路実習(2) ●電子回路設計製作実習(4)	●システム開発実習(2) ●インタフェース製作実習(4) ●複合回路製作実習(2) ●組込みソフトウェア応用実習(2) ●ファームウェア実習(1) ●組込み機器製作実習(5) ○企業実習(4) ○総合課題実習(4) ●総合制作実習(12)
一般 教育科目		●数学 ●物理 ●英語Ⅰ - 保健体育	●職業社会論 - 法学 英語Ⅱ 保健体育	●工業英語 ●キャリア形成概論

※()内の数字は単位。●:必修科目(出席が80%以上で評価点が60点以上必要) ○:選択科目(1科目を選択し履修する)
科目は156単位以上を履修する必要があります。

Practical Subjects 実習科目



電子機器組立て実習

電子部品の取り付けや配線、はんだ付け作業など、電子機器の組立て技術を習得します。



デジタル回路基礎実習

デジタルICなどの電子部品の機能や仕組みを学習し、実験を通してLEDやモータ制御回路の設計製作技術を習得します。



情報通信工学実習

LANやインターネットの仕組みについて学習し、通信プログラムの作成と実験を通して情報通信技術を習得します。



インタフェース実習

モータ駆動回路の製作を通して、電子回路の設計から基板製作までの技術を習得します。



マイクロコンピュータ工学実習

マイコンにLEDや各種センサ、モータを接続し、プログラムで制御する技術を習得します。



総合課題実習

LEDの点灯回路の設計から、点灯パターンを変化させるためのマイコンプログラムの作成をグループで行い、イルミネーション作品を製作します。

Voice of Teacher 教員メッセージ

スマートフォンや自動運転、AI(人工知能)など、便利で魔法のような技術は電子情報技術で支えられています。当科はIoT技術を身に付けるため、ハード(装置)・ソフト(プログラム)・ネットワーク(通信)の多岐にわたる要素を学習し、実際にロボット等を製作します。今はまだない“あなたのアイデア”を現実にする技術に挑戦してみませんか!!

大学選びは迷いや戸惑いの連続だとは思いますが。実習の多い当校では手を動かし、経験値を積んで着実にレベルアップ・スキルアップできます。2年後または4年後、あなたがなりたい自分になるために必要な武器(スキルと経験)と一緒に身に付けましょう!

電子情報技術科 永山 晋也先生



生産電子情報システム技術科

Department of Production Electronics and Information Systems Technology

ハードウェア、ソフトウェア、通信ネットワークの 知識・技術を深める。

生産電子情報システム技術科では、IoT、ロボット、AI技術などによって支えられるSociety 5.0社会の実現に向けて、複合電子回路、組み込みマイコン制御、セキュアネットワークなどの科目を習得し、組み込み関連技術のニーズに対応できる高度なテクニカルエンジニアを目指します。

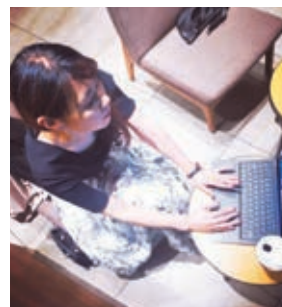


Voice of Graduate 卒業生の声

最新の技術を吸収するだけでなく、アウトプットすることを意識しています

前野 百合愛さん 生産情報システム技術科(※現 生産電子情報システム技術科)卒業

SQLやVBAなど、プログラムの技術的な面もそうですが、ロジカルシンキング・逆算思考など考え方を養えたことがどのようなデータ構築が必要か?どのようにプロジェクトを進めるべきか?など現在の職種にとっても重要なため、現在進行形で役立っています。社会に出ると、インプット学びだけでなくどのようなアウトプット成果を出したのか?も求められます。九州能開大では、インプットとアウトプットを繰り返して学ぶことができるため社会に通ずる力を養いたい方は、ぜひ進学をお勧めします。



Curriculum

カリキュラム

3年次			4年次
目 標	技能・技術の理解をして課題分析・設計ができる。		課題に対する提案とその構築を行い、報告書作成と発表ができる。
専攻学科	●工業技術英語(2) ●生産管理(2) ●品質管理(2) ●機械工学概論(2)	●アナログ回路応用設計技術(2) ●デジタル回路応用設計技術(2) ●複合電子回路応用設計技術(2) ●ロボット機器(2)	●通信プロトコル実装設計(2) ●セキュアシステム設計(2) ●組み込みシステム設計(4) ●安全衛生管理(2)
専攻実技	●機械工作・組立て実習(4) ●実装設計製作実習(4) ●制御回路設計製作実習(4) ●センシングシステム構築実習(4) ●ロボット機器実習(2)	●通信プロトコル実装実習(4) ●セキュアシステム構築実習(4) ●組み込みシステム構築実習(4) ●生産管理システム構築実習Ⅰ・Ⅱ(4) ●組み込みデバイス設計実習(4)	●組込みシステム構築課題実習(10) ●電子通信機器設計製作課題実習(10) ●ロボット機器製作課題実習(電子情報)(10) ●EMC応用実習(4) ●電子回路設計製作応用実習(4)
応 用			●電子装置設計製作応用課題実習 ●組み込みシステム応用課題実習 ●通信システム応用課題実習 ●ロボットシステム応用課題実習 (54)

※()内の数字は単位。

Practice on Standard Assignments

標準課題実習

現場に近い形で、グループで協力して製品を作り上げます。今まで培った技術と技能を応用して課題実習に取り組みます。コミュニケーションスキルやマネジメント手法を実践しながらものづくりの一連の流れを習得します。



組み込みデバイス設計実習

FPGAを用いたデジタル回路の開発フロー、HDLによるデジタル回路設計技法を習得します。



制御回路設計製作実習

電子回路シミュレーション、モータ駆動回路の設計製作、制御プログラミングを通して移動装置の開発技術を習得します。



組み込みシステム構築課題実習

遠隔監視装置をテーマに、IoT機器からセンサデータをサーバに蓄積し、Webから監視する情報システムを構築します。

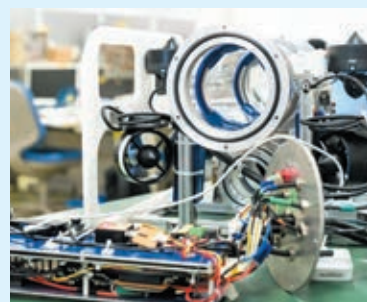
Development Project Practice

開発課題実習／4年次 ―実践力を養う学生主体のグループワーク

プロジェクトテーマ

『船底点検ロボットの開発』

新門司マリーナとの共同研究の下、船底の汚損・破損状態を点検するために「船底点検ロボット」を開発しました。はじめに、新門司マリーナのハーバースターヘユーザヒアリングを実施し、マスターからは近年の船底点検事例が紹介され、ロボットのバッテリー交換方法など改善点をあげていただきました。その後、要望をもとに基本仕様を策定し、装置の開発を行いました。開発したロボットは、マリーナスタッフ1名で持ち運べるように、サイズはA2サイズ、重さは10kg程度になるように設計しました。船底点検と海底落下物の確認のためにカメラ3台と水中ライト2灯を搭載しており、パソコン画面で撮影動画を確認しながら、ゲームコントローラからの遠隔操作が可能です。



在校生の声

私はピースピッキング試作装置の開発を行っています。主な開発内容は発注がかかった商品を必要個数分、協働ロボットを使ってコンテナに積める一連の流れを担当しています。自分が書いたプログラムで思ったように動作する点がとても面白く楽しいです。また、正確に商品を取り出して格納するところが難しく苦労しています。実習などにおいて、躓いて悩むことも多々ありますが、それも自分の知識として次に活かすことができる大学校でもあります。自分から学んでいきたいと思う人はとても魅力的な大学校だと思うので頑張ってください。

一ノ瀬 董 さん 生産電子情報システム技術科(長崎県 長崎日本大学高等学校出身)

建築系 Residential

“百工”とは、“各種の職人”を意味し古来より宮大工に伝わる口伝に出てくる言葉です。

建築は多くの人が携わり、力を合わせることで成り立っています。多くの人をまとめ上げる人間力は、将来どの道に進んでも求められます。ここポリテクカレッジでは建築に関する知識、技能・技術はもちろん、少人数制を活かしたグループワークや実験・実習で人間力も養います。座学だけで終わらない10年先を見据えた実践学習で1つずつ、確実に身に付けましょう。

建築系の活かせる分野

住宅分野

住宅設計、施工管理、インテリアコーディネーターなどの知識を身に付け住宅分野で活かす。

総合建設分野

実践的な施工管理技術を習得し、総合建設分野で活かす。

不動産・住宅設備分野

設計から施工までを実習し、不動産営業、リフォームアドバイザーとして活かす。

Qualifications 資格

在校中に取得可能な資格

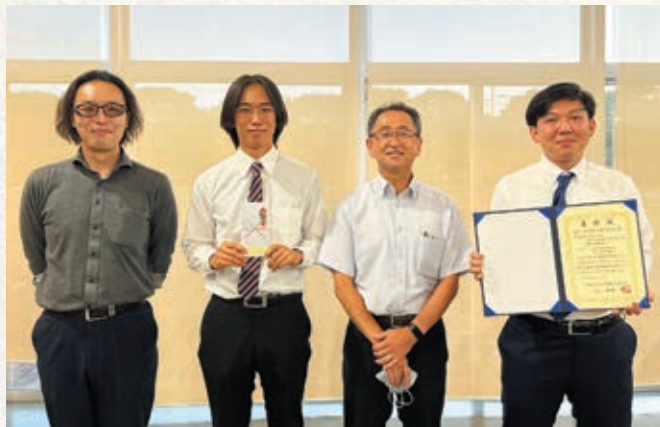
1級建築士 ※専門課程修了後に受験可能／2級建築士 ※専門課程修了後に受験可能／福祉住環境コーディネーター／インテリアコーディネーター／インテリアプランナー／建築積算士補
携帯用丸のこ盤安全教育／墜落制止用器具特別教育／足場組立て等特別教育

在校中に一次試験を受験可能

1級建築施工管理技士／2級建築施工管理技士
など

競技会等での活躍

九州ポリテクカレッジでは、毎年、積極的に競技会に参加しています。そして、多くの功績を残しています。



8月19日 埼玉県で行われた表彰式において表彰された学生

第5回建築設計競技 入賞 建築科2年生6名

2022年8月19日

一般社団法人実践教育訓練学会主催の「第5回 建築設計競技」に、建築科2年生が6名チャレンジしました。

今回のテーマは「サステナブル住宅」。サステナブルな社会、住環境を実現するために歴史や建築技術、生活の工夫などを考え、未来へと続く住宅を提案するテーマでした。

日本全国の大学生、職業能力開発関係施設で学ぶ学生・受講生、高校生から66件の応募があり、当校からは、2位に田中大翔さん、丸野勇仁さん、櫻井瞭輝さん、上位作品に樋口桃歌さん、市園優花さん、谷沙也加さんが入選しました。表彰式が8月19日に埼玉県のものづくり大学で行われ、当校でも改めて表彰式と作品紹介の場が設けられました。

教員からのメッセージ

建築科

専門課程 | 1年次 / 2年次

当校は実際にものを作れる環境が整っており、やる気次第で様々なことにチャレンジすることができます。他大学の卒業制作にあたる「総合制作実習」という授業が2年生時に通年で行われ、個人または少人数のグループで決定したテーマについて1年間取り組みます。将来を見据えて少し背伸びしたテーマを一生懸命取り組んでほしいと思います。その過程が、各自の様々な成長を促してくれるでしょう。



岡田 健太郎先生
建築科

建築施工システム技術科

応用課程 | 3年次 / 4年次

建築は多くの職種が携わり、協力していくことで成り立っています。当校の応用課程では、リーダーシップやコミュニケーション力などのヒューマンスキルの育成にも力を入れています。当校でヒューマンスキルを養い、多くの職種をまとめることができる施工管理者を目指しませんか。



齋藤 慎一郎先生
建築施工システム技術科



建築科

Department of Architecture

建築物の施工における知識、技能・技術に加え、 ヒューマンスキルを深める。

専門課程では建築に関する設計から施工に至る様々な知識、技術を学び、専門実技科目や総合制作実習を通してコミュニケーション能力、リーダーシップ能力、課題解決能力、マネジメント力、実践力等を養います。実践的なカリキュラムで構成しているため企業からの評価も高く、修了生からは機器の取扱いや仕事の流れ等、ある程度理解した状態で仕事に就くため、他校出身者との差を実感するとの声も聞かれます。



Point 01

建築計画設計

意匠計画、構造計画を
中心に設計技術を
習得します。

Point 02

建築施工

“管理”の視点をもって
施工知識・技術を
習得します。

Point 03

実験・実習

座学を裏付ける実験、
理解を深める実習に
取り組みます。

Curriculum

カリキュラム

1 年次／1・2 期		1 年次／3・4 期	2 年次／5・6 期	2 年次／7・8 期	
各期ごとの教育訓練目標		知る 建築空間の概念としくみ	学ぶ 建築空間の計画と構成	考える 建築空間の設計と工法	まとめ・提案 建築空間の設計・工法と提案
建築の究極的目的である人と生活の器たる建築空間について概念を知る。		どのように建築空間を計画しどのように建築空間を構成していくのかについての基本的な専門知識・構法等を学科・実技を通して学び、深める。	建築空間のプランニング、コンストラクションの基礎的知識をふまえて、それぞれの領域を広め、深め、考える。	建築空間の創造に対して学んだことをベースに、建築的な事象・現象について、専門的なまとめ、提案を行う。	
専門科目	学科	大学校入門講座(2) ●コンピュータ基礎(2) ●構造力学Ⅰ(4) ●建築計画Ⅰ(2) ●建築構法(2) ●建築材料Ⅰ(2) ●安全衛生工学(2) ●建築法規(2)	建築職業概論(2) ●建築史(2) ●生産工学(2) ●建築計画Ⅱ(2) ●建築材料Ⅱ(2) ●建築施工Ⅰ(2) ●建築測量(2) ●構造力学Ⅱ(4)	●環境工学Ⅰ(2) ●構造設計Ⅰ(2) ●構造設計Ⅱ(2) ●建築施工Ⅱ(2) ●施工管理(2)	●建築設備(2) ●仕様及び積算(2) ●構造設計Ⅲ(2)
	実験実技	●基礎製図(4) ●コンピュータ基礎実習(集中)(4) 造形実習(集中)(2) ●基礎工学実験(4) ●建築施工基礎実習(4)	●建築設計実習Ⅰ(4) ●施工図実習Ⅰ(集中)(2) ●建築測量実習(2) ●建築施工実習Ⅰ(4)	●建築材料実験(集中)(4) ●建築設計実習Ⅱ(4) CAD実習Ⅰ(4) ●建築施工実習Ⅱ(4) 施工管理実習(2) ●環境工学実験(2) ●総合制作実習(8)	●建築設計実習Ⅲ(4) ●総合制作実習(4) CAD実習Ⅱ(2) 応用制作実習(4) 建築施工実習Ⅴ(2) ●ドローン活用実習(2) 施工図実習Ⅱ(4) ○企業実習(4) ○企画実習(4)
一般教育科目		●数学 ●英語Ⅰ ●物理	●職業社会概論 法学 英語Ⅱ 保健体育	●工業英語 ●キャリア形成概論	心理学

※()内の数字は単位。●:必修科目(出席が80%以上で評価点が60点以上必要) ○:選択科目(1科目を選択し履修する)
科目は156単位以上を履修する必要があります。

Practical Subjects

実習科目



建築構法

建物の構成を学び、専門的知識として建物具体的などのような材料でどんなふうにつ造られているかを学習します。



建築施工実習Ⅰ

木造の課題を製作します。施工図の作成から施工までを行い、必要となる施工管理の技術を得得します。



CAD実習

建築の基礎となる図面やプレゼンテーションを作成するために、2次元CADと3次元CADを学びます。



建築施工実習Ⅱ

鉄筋コンクリート(RC)造の課題を製作します。施工図の作成、施工、施工管理を1年次に比べより主体的に取り組めます。



総合制作実習

「北九州市景観の模型及びマップ作成」
街歩きを通して、建物や景観の形成について調査します。調査結果を基に、模型やマップを作成することで街の魅力を発見します。



総合制作実習

「茶室製作」
デザインした実物大の茶室を製作します。学生自ら計画・工事することで、総合的な能力を身に付けます。

Voice of Teacher

教員メッセージ

2年次から始まる「総合制作実習」は、各学生の夢につながる学習・体験・実習に挑戦できます。この授業では、教員のサポートを受けながら、自分でプロジェクトを考案し、実践します。卒業生たちは、住宅のリノベーション、設計コンペ、街歩きマップ作成、技能検定など多彩な分野に挑戦してきました。

この実習を通じて、1年間にわたり経験を積み、自信と実力を高めていけます。自身の才能や情熱を追求し、夢を叶えるプロセスを体験できることから、お勧めします。

建築業界で活躍するためには、自己信頼と向上心が大切です。当校の幅広く実践的な課題や体験を通じて、自分の夢に向かって突き進む力を鍛えましょう。

建築科 中山 翔太郎 先生



建築施工システム技術科

Building Construction System Technology

**建築施工システム技術科は、
学生が施工管理者（建築の現場監督）に
就くことを目指しています。**

建築施工システム技術科は、学生が施工管理者（建築の現場監督）に就くことを目指しています。建物を施工する（造る）には、大きく分けて設計者、施工者（大工をはじめとした職人）、施工管理者の技術が必要です。なかでも施工管理者は、怪我なく安全に・良い品質で・適正な金額で・適正な期間・環境に配慮して造られるためのいわば指揮者ともいえます。当科では関連知識・施工実習を通して施工管理の視点を学びます。



Voice of Graduate 卒業生の声

関係するすべての人が満足いく工事現場をマネジメントしていきたい

宮田 正明さん 建築施工システム技術科 卒業（沖縄県立那覇国際高等学校出身）

私は現在、総合建設業（ゼネコン）で施工管理業務に携わっています。仕事内容は複合商業施設で工事の計画や安全・品質・工程管理などを行う施工管理、商業施設のメインとなる鉄骨、外装工事が主な担当で毎日を安全に管理することが私のミッションです。建築施工システム技術科での授業や実習は将来必ず役に立ちます。在校中からの資格取得や就職活動にも熱心に協力してくれる先生や環境が整っています。特に建設業界の施工管理で活躍したい人にはとてもおすすめできる環境です。



Curriculum

カリキュラム

3 年次			4 年次		
目 標	技能・技術の理解をして課題分析・設計ができる。		課題に対する提案と開発を行い、報告書作成と発表ができる。		
専攻学科	工業技術英語(2) 時事英語(2) 応用構造力学(4) 施工法詳論(2) 応用建築概論(2)	施工関係法規(2) 安全衛生管理(2)	建築生産管理(2) 建築経営(2) 創造的開発技法(4) 職業能力開発体系論(2) 環境・資源エネルギー(2)	工学概論(2) 建築生産論(2) 構造解析(2) 設備施工管理(2) 建築生産環境論(2)	維持保全(2)
専攻実技	内装施工実習(4) 鉄筋コンクリート構造施工課題実習(8) 木質構造施工課題実習(8) 施工図書実習Ⅰ(4) 施工図書実習Ⅱ(4) 建築ドキュメントワーク実習(2) 建築生産情報処理実習(4)	基礎構造物設計実習(4) 仮設施工計画実習(2) 鉄筋コンクリート構造施工管理課題実習(6) 木質構造施工管理課題実習(6) 鋼構造施工管理課題実習(6) 安全衛生管理実習(2)	木質構造実験(2) 施工実験(4) 施工積算実習(2) 鋼構造実験(2) 山留め・構台施工実習(4)		

※()内の数字は単位。

Practice on Standard Assignments

標準課題実習

現場に近い形で、グループで協力して製品を作り上げます。今まで培った技術と技能を応用して課題実習に取り組みます。コミュニケーションスキルやマネジメント手法を実践しながらものづくりの一連の流れを習得します。



木質構造施工管理課題実習

木造在来軸組構法の住宅を施工します。各種伏図・加工図を作成し、材の加工、建て方作業、施工管理を主に行います。



鉄筋コンクリート構造施工管理課題実習

小規模の鉄筋コンクリート構造の建物を施工します。各種施工図書の作成と、型枠・鉄筋の加工・建込み・配筋を行い、その工程を管理します。



鋼構造施工管理課題実習

小規模鉄骨造の建物を施工します。溶接・高力ボルト接合と施工管理を主に行います。

Development Project Practice

開発課題実習 / 4年次 ――実践力を養う学生主体のグループワーク

プロジェクトテーマ

『壁式RC構造および耐震天井の施工・施工管理』

開発課題は、標準課題進展型として、テーマ選定を検討しました。標準課題(RC構造)では、典型的なラーメン構造をいわゆる在来工法にて指定された設計図書をもとに施工図を起こし、各種検査表・作業手順書を作成し、施工実習・施工管理実習を行います。加えて、内装施工実習として躯体内においてLGSによる仕上げのための下地組の施工・施工管理を行っています。本開発課題では、標準課題で取り組まなかった壁式RC構造と耐震天井に取り組みました。ラーメン構造が線材で構成されるのに対し、壁式構造は壁・スラブによる面で構成されます。柱型・梁型が現れないため、室内に凹凸が生じずすっきりとした空間となることから低層重合住宅に用いられることが多い構造です。なお、柱・梁がないとはいえ、相応の負担を壁が担うため、結果として壁厚は大きくなってしまいます。梁に至っては梁型がないだけで、梁幅=壁厚となる壁梁なるものが壁内に存在します。したがって、鉄筋の納まり・鉄筋加工に苦慮します。一通りの施工図書作成ののちに、施工性の確認を主眼として実習としては大幅なコストダウン(階高を小さく・開口をより大きく)を図ります。耐震天井においては、近年、地震による天井材の落下がみられることから取り組みます。

本開発課題を通して、標準課題で得たRC造施工・施工管理手法からのさらなる向上につながり、将来の施工管理職に活かされます。



在校生の声

開発課題では、小規模店舗の小屋を建て、施工と施工管理を行います。面白い点は、実践的に建物を作製するワクワク感や知識を補いながら作業に活かし、自分への成長につながることで、また、メンバーと一つのものを作り上げていく楽しさを味わえることです。苦労している点は、ミスの対応策を見つけ出すことやスケジュール調整が思い通りにいかないことです。メンバーと解決策を見つけながら、作業効率を上げられるよう日々努力しています。

平良 ゆうさん 建築施工システム技術科(沖縄県 興南高等学校出身)

キャリア支援プログラム

キャリア支援室は、安心して就職に向き合えるよう、各種の支援プログラムを用意しています。また、各科担任と連携をして、学生一人ひとりの適性に合わせてきめ細かに就職活動をサポートします。

Schedule

(就職ルールの改定などにより、変更する場合があります)

	5~9月	10月	11月	12月	1月
		就活準備期			
就職動向	■企業情報収集 ■インターンシップ参加	■自己分析 ■業界・職種・企業研究		■筆記試験対策 ■適性検査 ■一般常識	
学生活動スケジュール	就職サイトへの登録 インターンシップ	自己分析 業界・企業・職種研究情報収集		エントリーシート・履歴書・適性・SPI検査対策	
大学校就職支援プログラム		就職ガイダンス 進路希望調査 SPI受検会 企業訪問(求人開拓) 求人票発送 → 求人票受付・掲示 インターンシップ参加学生支援 科毎個別面談(就職動向把握)	SPI対策講座・就職対策講座	電機業界説明会 業界研究セミナー ジョブ・カード 就職相談(ES・履歴書添削・面接指導等) 就職個別指導(インターンシップ等参加動向・	

POINT 1

個別キャリア支援によるサポート

事前予約制で、キャリア支援アドバイザー及び担任が、学生一人ひとりの個性・特徴を捉え、手厚くフォローします。



自己分析



進路相談



面接指導



応募書類添削



個別進路相談

POINT 2

全員参加型プログラムによるサポート



インターンシップ準備支援

インターンシップに行くための準備講座や地元企業の紹介等の支援を行います。



就職ガイダンス

就職ガイドブックを配布し、就活準備についてキャリア支援担当より説明を行います。



業界研究セミナー

就職先企業の方を講師に招き、業界の歴史や特徴、展望について、また実際の仕事内容やその業界が求める人材像などについて学びます。



SPI模擬テスト受検セミナー

SPIの模擬テストにトライし、自分の実力を理解するとともに、SPIや他の適性検査の特徴などについて学びます。



学内合同企業研究会

ブース訪問形式の合同企業研究会を学内で実施します。40~50社の企業に参加いただき企業担当者から直接企業について学ぶことができます。



学外合同企業説明会参加

就職活動支援企業主催の合同企業説明会に専門課程・応用課程1年生全員で参加します。

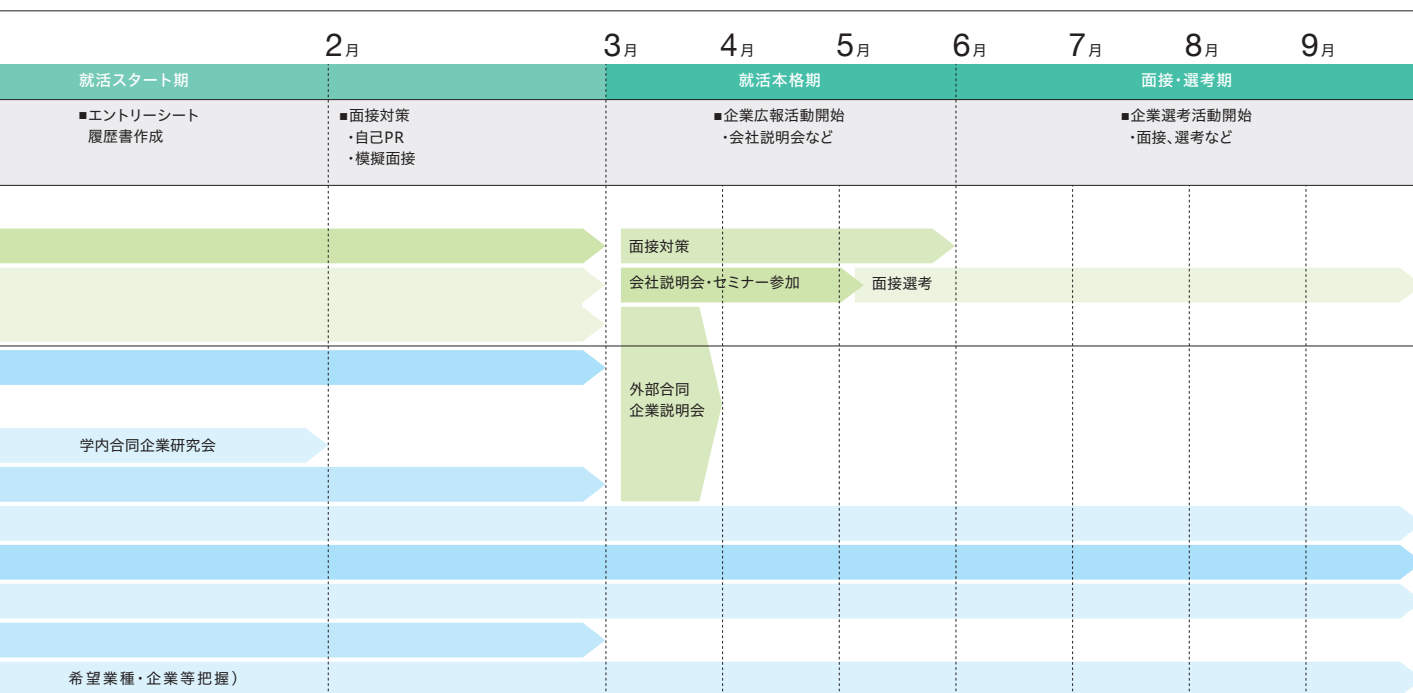


ジョブ・カード作成支援

ジョブ・カードを利用したキャリアプランニングを作成し将来のキャリア形成に役立てます。



業界研究セミナー



POINT
3

希望者参加型プログラムによるサポート

SPI対策講座

就職試験で多く利用される適性検査(SPI)の
非言語分野の対策講座を実施します。

就職対策講座

就職活動において欠かせない、自己分析・企業
研究・書類作成などカテゴリー別に詳しい手法
や対策を学ぶ講座を実施します。



就職ガイダンス

夢への第一歩。企業が求める3つの人間力



考える力 洞察力・問題解決力

座学で学んだことを実習で活かし、実習で
学んだことを座学でフィードバックする。
1年次から徹底しているこの学習スタイル
は、学生一人ひとりが深く考察し、課題解決
へ臨む力を伸ばします。



伝える力 コミュニケーション力

少人数体制の授業の中では、グループワ
ークを豊富に取り入れています。
学生主体で企画し、課題に取り組むことで、
より柔軟で視野の広い人間性を育成。もの
づくりに欠かせないコミュニケーション力
を習得します。



行動力 継続力・集中力

授業・実習時間の豊富さは、一般的な国立
大学工学部と比較しても2倍近く。
課題に取り組みながらも、技術を競い合う
全国コンテストに挑戦する学生も多く、もの
づくりを完成させるという継続力と集中力
が、自然に身に付きます。

POINT
4

キャリア支援室からのメッセージ

安心して就職活動ができるようにサポートします

九州職業能力開発大学の進路指導は、各科の担任の先生とキャリア
支援アドバイザーが協力して学生の支援にあたります。学生が持
つ特性やスキルを十分に発揮して就職活動ができるよう、一人ひと
りに向き合ったサポートができる体制が整っています。



キャリア支援アドバイザー
高田 さやかさん



卒業生・内定者メッセージ

社会で、世界で、活躍する卒業生、
社会に巣立つ先輩たちからのメッセージです。

卒業生インタビュー



峰松 寛さん
生産技術科 令和2年度卒業
(鹿児島県 神村学園高等部出身)

〔就職先〕

**トヨタ自動車九州
株式会社**

機械系

金型製作を主に担当しています。苦勞して製作したものが完成したときにやりがいを感じています。将来の夢は、職場一のエンジニアです。そのために業務を確実にこなし、技能検定にも挑戦しています。日頃から物事に対して疑問をもって過ごしてみてください。すると興味があるものが見つかり、自分のやりたいことに繋がるはずです。やりたいことが決まったらぜひ挑戦してみてください。



三浦 良輔さん
電気エネルギー制御科 令和4年度卒業
(長崎県 長崎南山高等学校出身)

〔就職先〕

**協和機電工業
株式会社**

電気系

上下水道施設の稼働状況に関するデータを一元的に管理・記録し、設備診断を常時可能にするシステムの維持管理を主にしています。将来の夢は、業務を一人でもこなせるようになり、部門になくはない存在になることです。九州職業能力開発大学校は大変なことも多いですが、学んだことは仕事でとても役に立っています。進路の選択肢の一つに入れてみてはいかがでしょうか。

内定者インタビュー



江川 颯太さん
生産技術科 2年
(熊本市立必由館高等学校出身)

〔内定企業〕

富士ダイス株式会社

内定を獲得できた要因は、はきはきとしゃべったことと、質問に対してすぐに返答できたところだと思います。将来の目標は、会社で貢献できる人材になること。メモを取る力を身に付けることを頑張っています。九州職業能力開発大学校は、一般の文部系の大学と違い実技が多いので、ものづくりが好きな人や、将来ものづくりを仕事にしたい人にぜひ入学してほしい大学校です。



喜屋武 玲音さん
電気エネルギー制御科 2年
(宮崎県立日向高等学校出身)

〔内定企業〕

ダイハツ九州株式会社

内定を獲得できた要因としては、インターンシップに参加する等の行動を早めにできたことや何度も面接練習を行い頭が真っ白になっても質問に答えられるようにしたことなどがあると思います。将来は皆から信頼され頼られるような技術者になりたいです。この大学校では沢山のことを学ぶことができます。能動的に自分から動くことでより多くのものを得るでしょう。



田中 瑞基さん
生産機械システム技術科 2年
(熊本県立鹿本高等学校出身)

〔内定企業〕

**ソニーセミコンダクタ
マニュファクチャリング
株式会社**

内定を獲得できた要因は、標準課題や開発課題を通してグループワークを学び活動してきたことが評価されたからだと感じました。将来は海外で活躍できる人材になりたいと思い、英語の勉強を頑張っています。九州職業能力開発大学校は就職にとっても強い大学校ですので頑張ってください。



松本 和樹さん
生産電気システム技術科 2年
(熊本県立人吉高等学校出身)

〔内定企業〕

大分キャノン株式会社

内定を獲得できた要因としては、企業研究をしっかりと行い、企業に入って何をしたいかを考えていたためだと思います。将来の目標は、人の役に立つ技術者になることです。九州職業能力開発大学校は実技が多く、就職した時に他の新入社員より、進んだ状態で始められるなど、他の学校ではできないようなことを経験できるので、ぜひ来てください。



前列中央が私です

漢那 拓実さん

電子情報技術科 令和2年度卒業
(福岡県立門司学園高等学校出身)

[就職先]

電子情報系

BMテック株式会社

産業用モータの製造・販売を行っています。業務内容としては顧客からの技術相談や見積対応、受注処理となります。

将来の夢は、職場の方々から信頼される人間になることです。

働いていてすごく楽しいと思える良い会社へ入れたのも、実用的な授業が多いこの大学だからこそだと思います。実践的な知識を身に付けたいなら、九州職業能力開発大学校をぜひご検討ください。



木田 ゆみさん

建築科 令和4年度卒業
(福岡県 敬愛高等学校出身)

[就職先]

建築系

昭和建設株式会社

「実施設計」という業務に就いています。お客様と打合せをして決めたプランを法律や構造計算に適合するか検討して、より詳細な図面を作成し、着工するための手続きを行っています。

将来の夢は、建築士免許を取得し、建築業界で幅広く活躍できる人材になることです。

この大学は座学はもちろん、実技や実習、設備も充実していて、比較的安価な学費も魅力です。



中園 成美さん

電子情報技術科 2年
(福岡県立小倉商業高等学校出身)

[内定企業]

株式会社三井ハイテック

就職活動を始めたのはかなり遅く、企業説明会は締め切っていたのですが連絡し、参加する行動力と面接ではありのままの自分であることに気を付け、猫をかぶらず素の自分を見てもらうことで内定をいただくことができました。

学校を卒業しても学ぶことを怠らず、現状維持ではなく高みを目指して成長していきたいです。

手を動かして技術を身に付けたいなら、この大学校がおすすめです。



松本 美穂さん

建築科 2年
(山口県立下関南高等学校出身)

建築系

[内定企業]

株式会社西建設

全ての面接で大きな声で、はきはきと話すことを心掛けたことが内定獲得につながったと思います。

将来は、施工図を早く描けるようになりたいです。早いだけでなく、わかりやすい図面を描くことを意識したいです。

初めて習うことばかりなので授業は大変ですが、社会に出た時に、実際に活用できる知識や技術を、実習を通して身に付けることができる大学校です。



広谷 隆彦郎さん

生産電子情報システム技術科 2年
(福岡県立八幡南高等学校出身)

[内定企業]

TOTOプラテクノ株式会社

内定を獲得できた要因としては、学校生活の中で培った、コミュニケーション能力やモラルを面接等で発揮することができたからだと思っています。

将来の夢は、会社内で昇進を続けていくことです。

九州職業能力開発大学校は、専門知識を入学前から学ばなくても、先生が手厚く教えてくれるので心配いりません。



伊藤 ゆかりさん

建築施工システム技術科 2年
(島根県立松江工業高等学校出身)

建築系

[内定企業]

広成建設株式会社

SPIやTAPの勉強を一生懸命行ったことが内定へとつながったと思っています。

将来の夢は、現場を信頼して任せてもらえるような、所長になることです。

この大学校は実習を通して多くのことを学ぶことができます。また、二年間同じクラスなので、友人をたくさん作り、この学校で楽しい思い出と、知識を身に付けてください！応援しています！！

就職実績

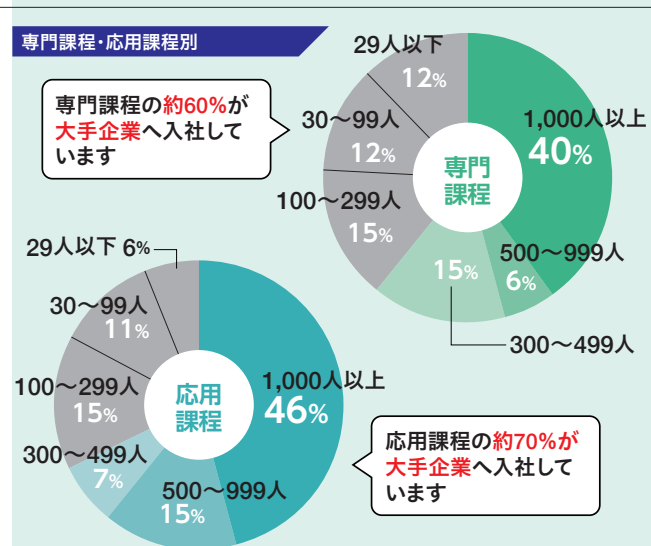
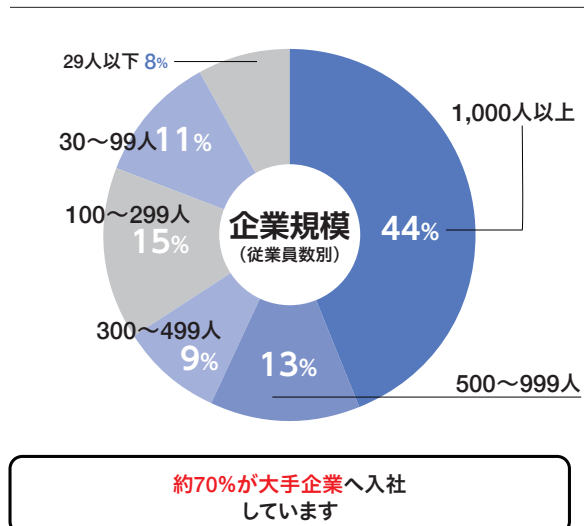
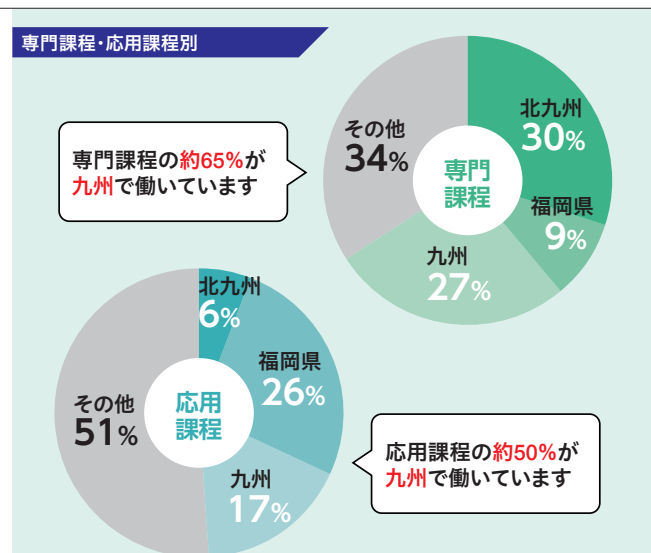
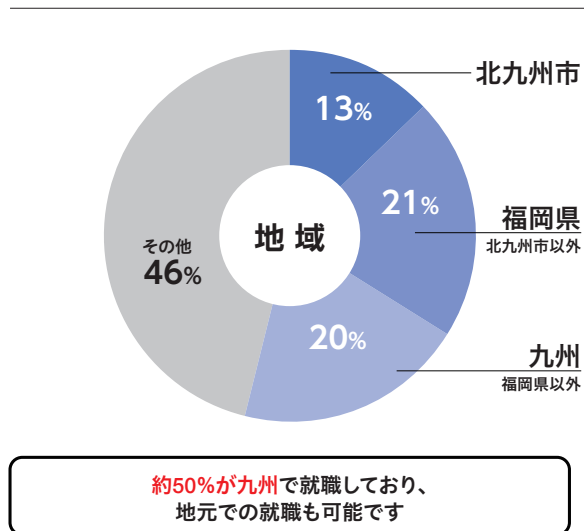
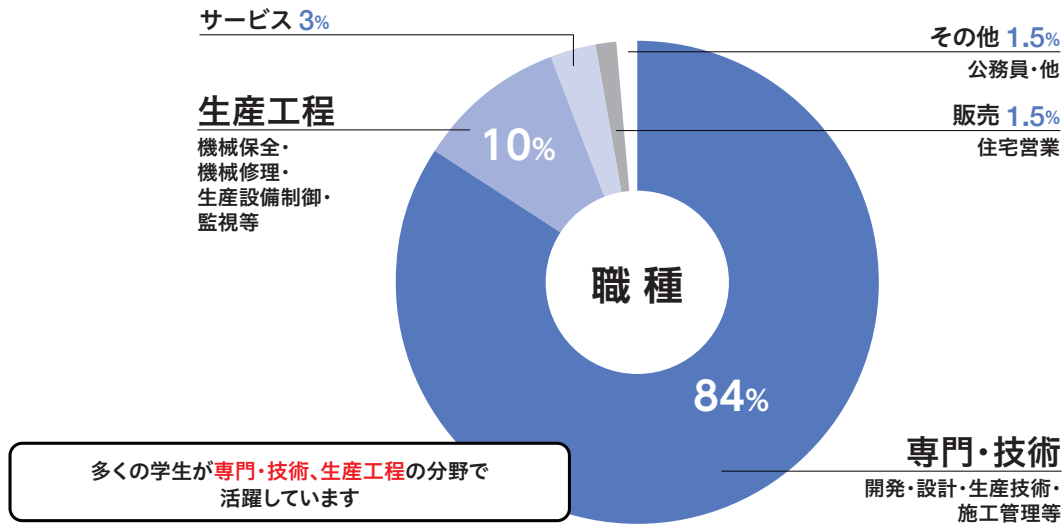
令和4年度
[2023年3月修了生]

ほとんどの学生が当校で学んだ専門分野に関係する仕事に就いています。

※当校の「実就職率」は「修了者数－進学者数」を分母とした就職率、ほとんどの教育機関で採用している「就職希望者数」を分母とした就職率より実態に近い数値です。

6年連続
“実”就職率100%
(2018～2023年3月修了生実績)
99%関連職種に就職

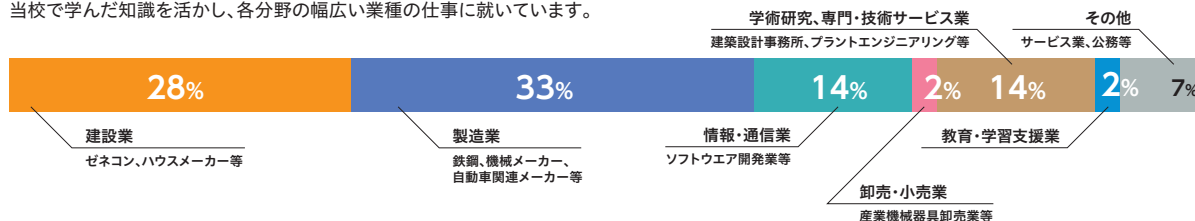
職種・地域・企業規模で見る割合





業種で見る割合

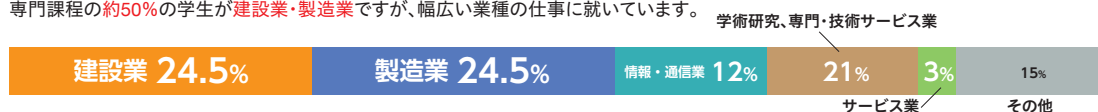
当校で学んだ知識を活かし、各分野の幅広い業種の仕事に就いています。



専門課程・応用課程別

専門課程の約50%の学生が建設業・製造業ですが、幅広い業種の仕事に就いています。

専門課程



応用課程の約35%の学生が製造業ですが、幅広い業種の仕事に就いています。

応用課程

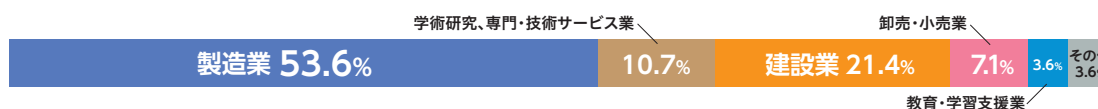


系 別

機械系



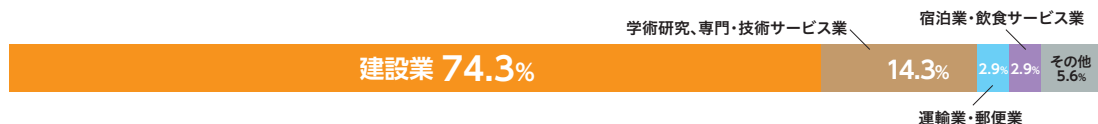
電気系



電子情報系



建築系



夢への第一歩。企業が求める3つの人間力

考える力 洞察力・問題解決力

座学で学んだことを実習で活かし、実習で学んだことを座学にフィードバックする。1年次から徹底しているこの学習スタイルは、学生一人ひとりが深く考察し、課題解決へ臨む力を伸ばします。

伝える力 コミュニケーション力

少人数体制の授業の中では、グループワークを豊富に取り入れています。学生主体で企画し、課題に取り組むことで、より柔軟で視野の広い人間性を育成。ものづくりに欠かせないコミュニケーション力を習得します。

行動力 継続力・集中力

授業・実習時間の豊富さは、一般的な国立大学工学部と比較しても2倍近く。課題に取り組みながらも、技術を競い合う全国コンテストに挑戦する学生も多く、ものづくりを完成させるという継続力と集中力が、自然に身に付きます。



CAMPUS LIFE

CAMPUS MAP

キャンパス紹介

緑に囲まれた 静かな環境

北九州市の南、緑に囲まれた落ち着いた環境の中にキャンパスがあります。広々とした敷地に、学びを支える校舎があり、それぞれ屋根付きの通路で結ばれているので、雨の日も濡れずに移動ができます。駐車場、駐輪場もあるので、車やバイク、自転車での通学も可能です。

A棟 事務棟
医務室・総務課・援助計画課

B棟 教室棟
学務課・キャリア支援室

C棟 電子情報系実習棟
1F 図書室

D棟 電子情報系実習棟

E棟 電気系実習棟

F棟 機械系実習棟

G棟 機械系実習棟

H棟 建築系実習棟

I棟 建築系実習棟

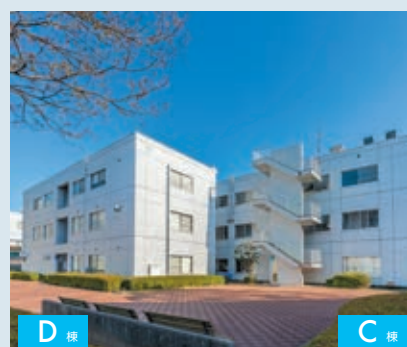
J棟 機械系実習場

K棟 機械系実習棟

L棟 電気系・建築系実習棟

M棟 建築系実習棟







CAMPUS LIFE

FACILITY

施設紹介

実践力教育を支える 充実の最先端設備・実習環境

広々とした実習室、実習棟には実際の現場で使用されている設備・機器類が揃っています。実際の現場さながらの環境で、就職してからすぐに役立つ知識や技術を身に付けます。



機械系実習棟 (F・G・J・K棟)

実際の現場で使用されている様々な機器類を完備。多くの機器類の操作を経験し、実際の現場で役立つ技術を身に付けます。



電気系実習棟 (E・L棟)

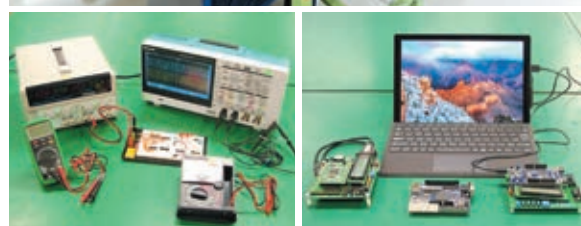
実際の現場で使用されている電気機器類が揃っており、現場と同じ作業を行うことができます。

最新の設備・機器で、最先端の学びを。



教室棟 (B棟)

講義室、視聴覚室、キャリア支援室など、学生生活を支える施設が揃っています。



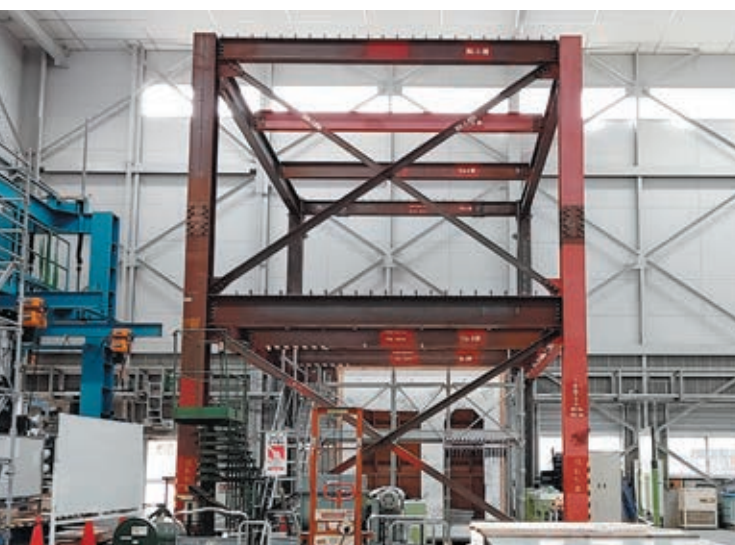
電子情報系実習棟 (C・D棟)

電子系機器類の組み立て作業を行える広い作業台と、制御回路・設計を行うハイスペックのパソコンを完備しています。



食堂、体育館

学生の胃袋を支える食堂と、授業やサークル活動に使用する体育館があります。



建築系実習棟 (H・I・L・M棟)

実習棟では、実際に木造やRC造の構造物を作ることが可能！実際の現場の作業手順を身に付けます。建築CADに対応したパソコンも備えています。





CAMPUS LIFE

EVENTS・CIRCLE

行事・サークル紹介

EVENTS

4 April

入校式、オリエンテーション、
授業開始



5 May

新入生歓迎会



6 June

応用課程
推薦入試

学校説明会



球技大会

新入生と先輩学生が
球技を通して楽しい時
間を過ごします。

10 October

専門課程推薦入試
(専門・総合学科)

集中実習、
インターンシップ

11 November

キャンパス見学会
学園祭



専門課程推薦入試(全学科)
親子ものづくり体験教室



12 December

冬休み

近隣の小学校から大勢の
子どもたちが参加。「もの
づくり」を楽しんでいます。

CIRCLE



バスケットボール

私たちバスケットボールサークルは、毎週水曜日に活動しています。学年を越え、また初心者でも気軽に参加できるのがこのサークルの良いところ! バスケ好きは体育館へ。



バレーボール

経験者、未経験者を問わずみんなでワイワイ楽しくやっています。男女の区別なく、仲良く楽しんでいるアットホームなサークルです。バレーボールが好きだという人はぜひ。



バドミントン

私たちは毎週月曜日に活動しています。初心者から経験者まで幅広いので、バドミントンをしたことがないという人でも安心です! また、バドミントンは誰でも気軽に楽しめるスポーツなのでぜひ一緒にしましょう。

7 July

応用課程一般入試 集中実習
キャンパス見学会



8 August

キャンパス見学会 授業開始



9 September

前期試験

若年者ものづくり競技大会

高等学校や職業能力開発施設などにおいて技能を習得中の20歳以下の学生を対象とした、技能競技大会。ポリテクカレッジの学生も毎年参加しています。

1 January

授業開始

2 February

専門課程一般入試
学年末試験

技能照査
ポリテックビジョン



ロボット競技会



機械加工技術コンテスト

「ものづくり」に関する高度な実践的教育訓練や、研究開発の成果を競う、技術力コンテスト。九州・沖縄の学生たちが多数参加し、企業や学校にも注目されています。

3 March

総合制作発表会
開発課題発表会
修了式

春休み



軽音楽

サークル内でバンドを組んで、曜日を決めて練習しています。機材は揃っていますので、楽器を弾ける方、一緒に演奏しませんか。



ボランティア

2016年に結成したサークルで、月に1〜3回、地域の子どもたちとの交流やコンサートのサポートなどを行っています。大学生活の中、今しかできない経験を一緒にしてみませんか。



学生自治会

私たち学生自治会は主に学内イベントの企画・運営や校外活動を行っています。学内イベントで最も盛り上がるのは毎年11月に開催する学園祭で、当校の学生だけでなく地域の方々にも楽しんでいただけるよう半年以上前から準備を進めています。校外活動としては地域のボランティア活動に参加したり、お祭りに出店したりと近年積極的に活動しています。ここでしかできない経験を、皆さんもしてみませんか。



Apartment



アパートで一人暮らし

将来の為に、一人暮らしの経験をして、料理、そうじ等のスキルを身に付けたかったから。

電気エネルギー制御科(熊本県出身) 開田 晟史

高校3年の時の恩師の勧めで進学しました。将来の夢は職に就くことです。まずは自立したいと思っています。そのために、今は資格試験の勉強をしています。授業はみっちり、夏休みも他より短い学校です。でも友達と楽しめれば大丈夫！目標を持って入学を目指すことをお勧めします。

6:00	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00	22:00	24:00
就寝	起床・準備	登校	授業	昼食	授業	下校・買い出し	家事	アルバイト	夕食・入浴
7:00	9:00	11:00	13:00	15:00	17:00	19:00	21:00	23:00	就寝

Home



実家から通学

自宅からの公共交通機関の便が悪く、車しか選択肢が無かったので、車通学しています。

電子情報技術科(福岡県出身) 東 奈月

情報系を学べる学科を志望しており、専門的な授業や実習の多さ、就職率の高さに魅力を感じ、また家から通える範囲だったので進学先を選びました。将来の夢はまだ漠然としか決まっていないので、様々なことを学びながら、したいことを見つけていきたいと思っています。専門性の高い授業や実習を通して自分のスキルアップをすることができています。私は普通科高校出身でついていけるか不安でしたが、友達の力を借りたりしながら楽しく学んでいます。

6:00	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00	22:00	24:00
就寝	起床・準備	登校	授業	昼食	授業	下校・夕食	アルバイト	自由時間	勉強
7:00	9:00	11:00	13:00	15:00	17:00	19:00	21:00	23:00	就寝

学生相談室(ホッ!と暖話室)のご案内

悩みや不安・困ったことがあった時、気楽に気軽にご利用ください。

学生相談室(ホッ!と暖話室)

月・水・金曜日の午後
(事前の予約が必要です)

相談してみようかな



Dormitory



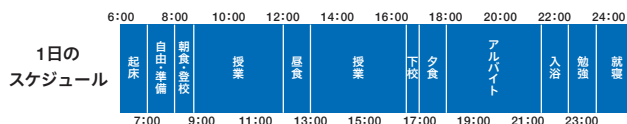
男子寮

寮のみんなでワイワイできるので楽しいです！

生産技術科(宮崎県出身) 福山 隼士

昔から身の回りの壊れたものを修理したりイジってみたりするのが得意で、機械系の事が好きだったので、本格的に学んでみたいと思い、九州職業能力開発大学校に進学しました。

実家は宮崎なので大学までは遠距離であり、また一人暮らし等でも物価上昇の懸念もあって、入寮を決めました。実際、登校時間もほぼなく、寮の友人達とワイワイできるので楽しいです！



Dormitory

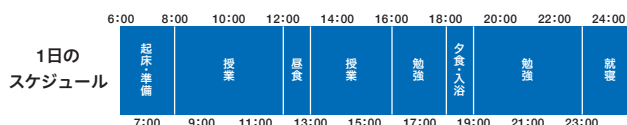


女子寮

セキュリティ面でも安心です。

建築科(福岡県出身) 井原 京香

建築関係の仕事に就きたいと思っていたので、ものづくりを“0”から学ぶことができ、実技・実習を重視したカリキュラムと実社会で必要な力を学べる九州職業能力開発大学校建築科へと進学しました。寮を選んだ理由は、自宅からの通学に時間がかかるため、その時間を有効に利用して学業に専念できる最適な場所だと考えたからです。寮では朝・昼・夕の食事がついているので健康面はもちろん、寮は学校の敷地内にあり、夜間は舎監さんがいてくださるのでセキュリティ面でも安心です。



食堂



洗濯室



男子寮談話スペース



女子寮談話スペース

男子寮・女子寮 月額約46,000円

(光熱費・食費込み)
(料金は変動する場合があります)

男子寮63室／女子寮30室
身障者用(男女各1室)
※全室個室10.25㎡(6畳程度)

標準装備 ベッド・机・いす・収納棚・
クローゼット・エアコン
※インターネット接続可能(別途契約が必要です)

共同設備 お風呂・トイレ・洗面・
洗濯室・食堂

入試情報(令和7年度)

入試制度の詳細はホームページより
ご確認ください。



募集科及び定員

募集科	定員	
生産機械技術科	25名	合計 95名
電気エネルギー制御科	20名	
電子情報技術科	25名	
建築科	25名	

推薦入試(専門学科・総合学科対象)

応募資格	学校教育法による国公立高等学校(中等教育学校を含む)で、職業に関する学科もしくは総合学科を令和6年3月卒業見込みの者で、在学校長の推薦を受けられる者。
試験日	令和6年10月12日(土)
試験地	北九州市(九州職業能力開発大学校)
合格発表	令和6年10月18日(金)

推薦入試(全学科対象)

応募資格	学校教育法による国公立高等学校(中等教育学校を含む)で、在学校長の推薦を受けられる者。学科の如何は問いません。
試験日	令和6年11月9日(土)
試験地	北九州市(九州職業能力開発大学校)
合格発表	令和6年11月22日(金)

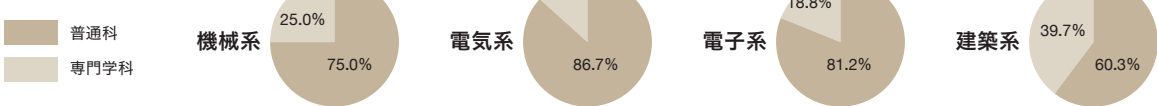
一般入試

応募資格	学校教育法による高等学校を卒業した者(卒業見込の者を含む)または、これと同等以上の学力を有すると認められる者。
試験日	令和7年2月6日(木)
試験地	北九州市(九州職業能力開発大学校)、福岡市、佐賀市、長崎市、大分市、熊本市、宮崎市、薩摩川内市
合格発表	令和7年2月17日(月)

入試データ(令和5年入試)

	受験者数	合格者数
推薦入試(専門学科・総合学科対象)	20人	16人
推薦入試(全学科対象)	41人	24人
一般入試	165人	132人

出身学科(令和5年入試)



県別入校者数(平成10年～令和5年)

福岡県	3,102人
佐賀県	109人
長崎県	302人
大分県	201人
熊本県	240人
宮崎県	341人
鹿児島県	569人
山口県	137人
その他の県	92人



入校時に必要な学費

	専門課程	応用課程	※左記金額は令和5年度入校時のものです。 ※授業料(390,000円)は前期と後期に2分割での納入となっています。授業料前期(195,000円)は4月末まで、授業料後期(195,000円)は10月末までにお振込みいただきます。 ※教科書・実習服・工具類などは、科によって異なります。
入校料	169,200円	112,800円	
授業料(前期分)	195,000円	195,000円	
教科書・実習服・工具類など	35,000～109,000円	31,000～64,000円	
訓練生総合保険(2年分)	15,850円	15,850円	
学生自治会費(2年分)	20,000円	20,000円	
同窓会費(永年会費)	3,000円	3,000円	
合計	438,050～512,050円	377,650～410,650円	

ポリテクカレッジの4つの経済的支援をご紹介します

入校料延納措置

入校前の3月末までに納付いただく必要がありますが、経済的理由により延納申請を行い、カレッジから承認を得られた方については、指定の期日まで納付期限が延納される制度になります。

入校料:169,200円(予定)

授業料等減免制度

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生を対象に、入校料・授業料の免除または減額を行う制度になります。

減免額(区分)

第Ⅰ区分入校料・授業料の全額免除
 第Ⅱ区分入校料・授業料各2/3免除
 第Ⅲ区分入校料・授業料各1/3免除

技能者育成資金融資

公共職業能力開発施設に通学する学生を対象に、成績と収入の状況を審査のうえ、授業料などに充てる資金を労働金庫を通じて融資する制度になります。

利 率:有利子・年2%

授業料分納・延納

授業料を分納・延納したいという方に対してもサポート体制を完備！
 支払回数及び支払日をご自身で事前に計画することができます
 (上限納付期限はあります)。

Q&A

Q 一般の大学とはどう違うのですか？

A 当校は専門的な技能・技術を備えた実践技術者を育成するための教育訓練施設です。

一般の文部科学省の大学ではなく、厚生労働省所轄で、職業能力開発促進法に基づき設立されています。このため「大学」ではなく「大学校」という名称になっています。

Q 普通科の高校生でもついていけますか？

A 普通科出身でも大丈夫です。

当校では「ものづくり」を基礎からしっかり学ぶカリキュラムを組んでいます。在校生の7割から8割は普通科出身です。

Q 就職支援はしてもらえますか？

A キャリア支援アドバイザーと各科の担任が連携し、学生個人の適性や希望を考慮して、きめ細かな支援を行っています。

当校卒業生の技能・技術は企業からも高く評価されており、毎年多くの求人を受けています。

Q 専門課程から応用課程にはどのようにして進学できるのですか？

A 入校試験への合格で、進学することができます。

入校試験には、推薦入試（書類審査と面接）と一般入試（専門的実技能力を問う筆記試験と面接）があります。

Q 一人暮らしを考えているのですが…。

A 当校の学生はおおよそ家賃3万円程度の物件に入居しているようです。

アパートの紹介は直接は行っておりませんが、協力いただいている業者様のご紹介はできますので、学務課にお問い合わせください。

Q バイク・車で通学はできますか？

A 駐車場を完備しています。

バイク・車および自転車での通学は可能です。

Q アルバイトはできますか？

A 特に規制はありません。

学業にさしつかえない範囲のアルバイトであれば問題ありません。

Q 学生寮には入れますか？

A 入寮希望者が多数の場合は、通学距離、保護者の所得等により選考いたします。

入寮の際は、階数や部屋を選ぶことはできません。テレビを設置される場合は別途NHKとの契約が必要です。

寮費	月額約46,000円（光熱費・食費込み） ※料金は変動する場合があります
定員	男子寮63室／女子寮30室 身障者用（男女各1室）※全室個室10.25㎡（6畳程度）
標準装備	ベッド・机・いす・収納棚・クローゼット・エアコン ※インターネット接続可能（別途契約が必要です）
共同設備	お風呂・トイレ・洗面・洗濯室・食堂

Q 奨学金制度はありますか？

A 厚生労働省の技能者育成融資資金制度、国の教育ローン（株）日本政策金融公庫が利用できます。

教育訓練の受講を容易にすることを目的に、一定条件を満たした学生に奨学金制度を用意しております。

※日本学生支援機構の奨学金制度は利用できません。

Q 授業料の免除等の制度はありますか？

A 授業料等減免制度があります。

国籍・成績・家計の経済状況等の要件を満たす必要があります。詳しくは学務課までお問い合わせください。

Q 就職時の学歴区分はどうなりますか？

A 専門課程修了で短期大学卒、応用課程修了で4年制大学卒として扱われています。

内閣府の「人事院規則」における学歴区分では、公務員試験や待遇において、専門課程修了で短期大学卒、応用課程修了で4年制大学卒として扱われています。また民間企業の求人においても、基本的には同等の扱いとなっています。

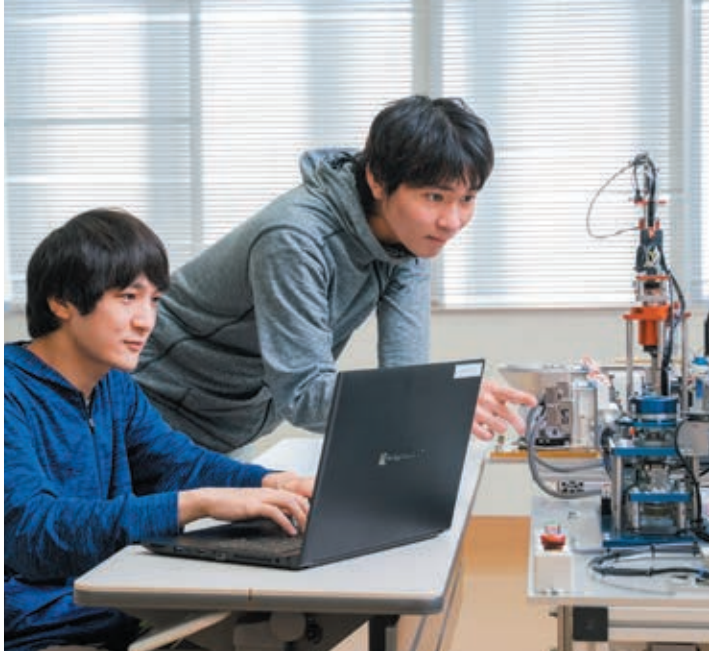
お問合せはこちら

九州職業能力開発大学校 学務課

他にも、ご質問は随時受け付けておりますのでお問合せください。

お電話で **TEL:093-963-8353** 平日／9:00～17:00

FAXで **FAX:093-963-8387** 24時間対応



九州職業能力開発大学校 [川内キャンパス] 川内職業能力開発短期大学校

専門課程

生産機械技術科
定員20名

電気エネルギー制御科
定員20名

電子情報技術科
定員25名

九州職業能力開発大学校の
専門課程(1年次・2年次)と同じく、
高い技能と技術を兼ね備えた技術者になるための
授業を鹿児島でも受けられます。
専門課程修了後には就職か、九州職業能力開発大学校の
応用課程(3年次・4年次)への進学を
選択することができます。

〒895-0211 鹿児島県薩摩川内市高城町2526

TEL 0996-22-1558 FAX 0996-22-6612

ホームページ <https://www3.jeed.go.jp/kagoshima/college/>



ACCESS

JR九州 川内駅 → (約25分) [市内循環くるくるバス] ポリテクカレッジ前
→ (約15分) タクシー
肥薩おれんじ鉄道 上川内駅 → (約25分) 徒歩



エリアマップ

リバーウォーク北九州

グルメやファッションはもちろん、劇場や美術館も併設。シネマやアートにも触れることができる。



©RIVERWALK KITAKYUSU 2023

小倉城

慶長7年(1602)細川忠興公が築城した名城。全国でも珍しい「唐造り」の天守閣からは、小倉の街が360度見渡せる。



小倉駅

グルメやファッション、JR九州ステーションホテルも併設。モノレール発着駅も備えている。



チャチャタウン小倉

小倉の街が見渡せる大型観覧車が目印の、商業施設。



北九州市は歴史的建造物から近代的な施設まで見どころがたくさん！車で小倉や門司を巡っても楽しい！

勝山公園周辺は映画・ドラマのロケ地もありますよ！

小倉まではモノレールも便利！



九州職業能力開発大学校

OPEN CAMPUS

キャンパス見学会

学びの概要や、入試情報の説明を始め、体験授業・校内見学を実施。
ポリテクカレッジを、見て聞いて、体験しよう！

7.15[月・祝]

8.24[土]

11.2[土]

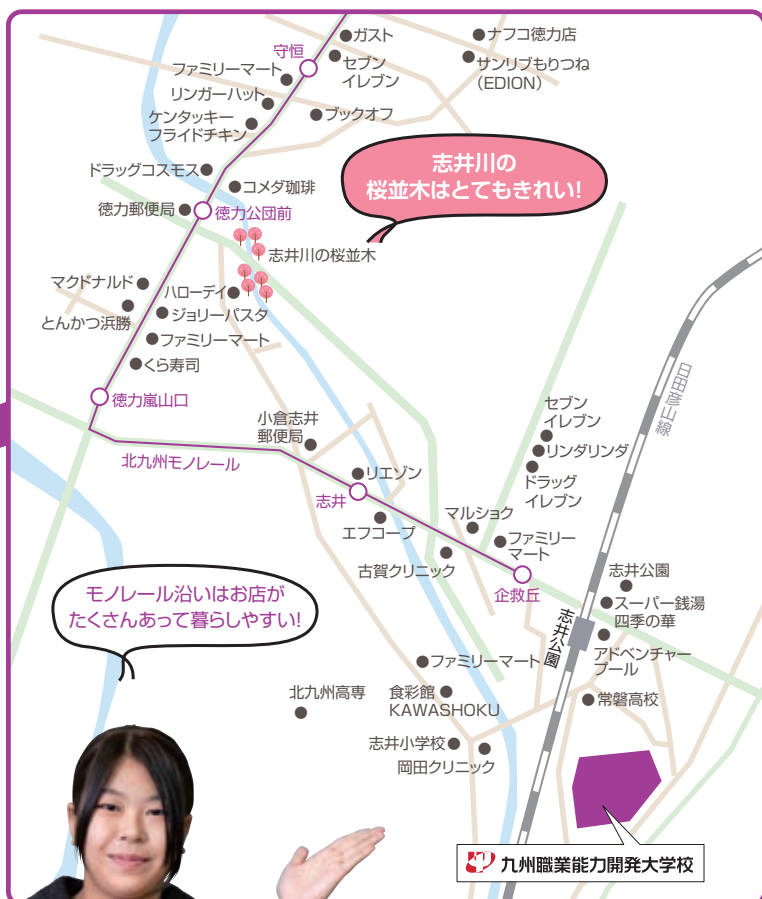
保護者
同伴OK!

友人との
参加OK!

私服
OK!

参加方法については
こちら

※参加者数が定員に達した場合は、受付を終了させていただきます。



近所のおすすめ

マルショク企救丘店

モノレールの企救丘駅から近いスーパー。食材やお弁当から、日用品や雑貨まで、学生生活を支えてくれます。



リンダリンダ

ハード系からやわらか系まで、たくさんのパンが並びます。オススメは耳までもっちり柔らかな生食パン！



志井公園

広場や遊具、プール(夏季限定)がある、広々とした公園。夏に開催される「まつりみなみ」の花火は必見！

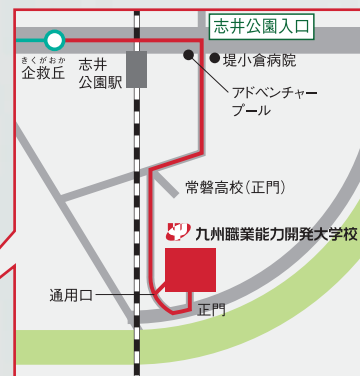


OPEN CAMPUS

キャンパス 見学会開催



学びの概要や、入試情報の説明をはじめ、体験授業・校内見学を実施。ポリテクカレッジを見て、聞いて、体験しよう！



ACCESS

JR九州[日田彦山線]

小倉駅→(約20分)志井公園→徒歩約12分

北九州モノレール

小倉駅→(約20分)企救丘(きくがおか)→徒歩約15分

西鉄バス

小倉駅→(約40分)志井小学校前→徒歩約10分

[34] 中谷行き(のりば2)/[34] 志井車庫行き(のりば2)

[36] 志井車庫行き(のりば1)



厚生労働省所管

九州職業能力開発大学校

KYUSHU POLYTECHNIC COLLEGE

〒802-0985 福岡県北九州市小倉南区志井1665-1

TEL 093-963-8353 FAX 093-963-8387

ホームページ <https://www3.jeed.go.jp/fukuoka/college/>

